

# 富岡町 住民意向調査 報告書

平成 30 年3月

復興庁  
福島県  
富岡町



# 富岡町 住民意向調査

## 報告書

### 目 次

<b>I 調査の概要</b> . . . . .	1
1-1 調査目的 . . . . .	3
1-2 調査内容 . . . . .	3
1-3 調査設計 . . . . .	3
1-4 回収結果 . . . . .	3
1-5 報告書の見方 . . . . .	3
<b>II 調査結果のまとめ</b> . . . . .	5
2-1 現在の状況 . . . . .	7
2-1-1 職業（問 11（1）） . . . . .	7
2-1-2 世帯人数（問 4・問 8） . . . . .	7
2-1-3 現在の居住地（問 7） . . . . .	8
2-1-4 現在の住居形態（問 9） . . . . .	8
2-1-5 世帯の分散状況（問 10） . . . . .	9
2-2 将来の意向 . . . . .	10
2-2-1 帰還の意向（問 12） . . . . .	10
2-2-2 富岡町に戻ることを決めた理由（問 13） . . . . .	11
2-2-3 今後の生活において必要だと感じていること（問 14） . . . . .	12
2-2-4 帰還する場合の家族（問 15） . . . . .	12
2-2-5 帰還した場合の仕事の見通し（問 16） . . . . .	13
2-2-6 帰還した場合の住居形態（問 18） . . . . .	13
2-2-7 帰還する場合に必要な施策（問 19） . . . . .	14
2-2-8 帰還するまでに必要な施策（問 20） . . . . .	15
2-2-9 帰還を判断する上で必要な情報（問 22） . . . . .	16
2-2-10 「戻りたいが戻れない」「まだ判断がつかない」 「戻らないと決めている」理由（問 21・問 24） . . . . .	17
2-2-11 富岡町との「つながり」を保ちたいか（問 23・問 25） . . . . .	18
2-2-12 富岡町との「つながり」を保つために必要な施策 （問 23-1・問 25-1） . . . . .	19
2-2-13 帰還しない場合に居住を希望する地域（問 26） . . . . .	19

2-2-14	帰還しない場合に居住を希望する住居形態（問 27）	20
2-2-15	町外生活者へのサポートとして必要な施策（問 28）	20
<b>III</b>	<b>調査結果</b>	<b>21</b>
3-1	回答者の属性	23
3-1-1	性別	23
3-1-2	年齢	23
3-2	東日本大震災発生時の状況	24
3-2-1	震災発生当時の住まいの行政区	24
3-2-2	震災発生当時の世帯構成	24
3-2-3	震災発生当時の世帯人数	25
3-2-4	震災発生当時の住居形態	25
3-2-5	震災発生当時の職業（就業形態）	26
3-2-6	震災発生当時の業種	27
3-2-7	震災発生当時の勤務先の場所	28
3-3	現在の状況	29
3-3-1	現在の居住地域	29
3-3-2	現在の世帯構成	29
3-3-3	現在の世帯人数	30
3-3-4	現在の住居形態	30
3-3-5	世帯の分散状況	31
3-3-6	現在の職業（就業形態）	31
3-3-7	現在の業種	32
3-4	将来の意向	33
3-4-1	富岡町への帰還についての考え	33
3-4-2	町内での生活を決めた判断材料	35
3-4-3	町内での今後の生活において、必要だと感じていること	36
3-4-4	見守り活動の一環として、町職員等による定期的な 家庭訪問の希望	36
3-4-5	富岡町へ戻る場合の家族	37
3-4-6	富岡町へ帰還した場合の仕事の見通し	37
3-4-7	富岡町へ帰還した場合に見通しが立っている仕事の場所	38
3-4-8	富岡町へ帰還した場合に見通しが立っている仕事の業種	38
3-4-9	富岡町へ帰還した場合に就業を希望する仕事の業種	39
3-4-10	富岡町へ帰還する場合に希望する住居形態	39
3-4-11	富岡町へ帰還する場合に元の持ち家以外を希望する理由	40
3-4-12	町内における災害公営住宅建設希望地の有無	40

3-4-13	富岡町へ戻る場合に必要と考える施策	41
3-4-14	富岡町へ戻るまでに必要と考える施策	41
3-4-15	富岡町への帰還の判断がつかない理由	42
3-4-16	富岡町への帰還を判断する上で必要と思う情報	43
3-4-17	富岡町へ戻った場合に希望する仕事の業種	43
3-4-18	富岡町へ戻った場合に希望する仕事の場所	44
3-4-19	帰還の判断がつかない場合に富岡町との“つながり”を保ちたいか	44
3-4-20	帰還の判断がつかない場合に富岡町との“つながり”を保つために必要な施策	45
3-4-21	富岡町へ帰還しない理由	46
3-4-22	帰還しない場合に富岡町との“つながり”を保ちたいか	47
3-4-23	帰還しない場合に富岡町との“つながり”を保つために必要な施策	47
3-4-24	帰還しない場合に居住を希望する地域	48
3-4-25	帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態	48
3-4-26	帰還しない場合に町外で生活している方に対するサポートとして必要な施策	49
3-5	意見・要望	50
3-5-1	意見に係る記入内容の分類結果	51
3-5-2	生活について	52
3-5-3	震災発生前の居住地について	54
3-5-4	賠償について	56
3-5-5	帰還について	58
3-5-6	避難期間中及び将来の住宅について	60
3-5-7	除染について	62
3-5-8	復旧・復興について	63
3-5-9	原発の安全性について	65
3-5-10	原発事故に対する対応について	66
3-5-11	その他	68
IV	●参考資料	71
4-1	使用調査票	73



# I 調査の概要





## 1-1 調査目的

本調査は、東京電力福島第一原子力発電所の事故により避難生活を余儀なくされていた富岡町住民の「帰還後の生活環境の改善」、「帰還に向けた諸施策の適切な実施に向けた取り組み」を検討するための基礎資料とすることを目的とする。

## 1-2 調査内容

※4-1 使用調査票を参照のこと

## 1-3 調査設計

(1) 調査地域	富岡町
(2) 調査対象と標本数	世帯の代表者 6,943 世帯
(3) 調査手法	郵送にて配布・回収（自記式）
(4) 調査期間	平成 29 年 8 月 28 日（月）～平成 29 年 9 月 11 日（月）
(5) 調査主体	復興庁、福島県、富岡町
(6) 調査機関	株式会社サーベイリサーチセンター

## 1-4 回収結果

有効回収数 3,203 世帯（有効回収率 46.1%）

## 1-5 報告書の見方

- ・調査数（ $n = \text{Number of cases}$ ）とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ・回答の構成比は百分率であらわし、小数点第 2 位を四捨五入して算出している。従って、回答比率の合計が 100%にならない場合がある。
- ・回答者が 2 つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、全ての選択肢の比率を合計すると 100%を超える。
- ・「その他」に内訳を記載している項目に関しては、個別の項目を合算して構成比を改めて算出している。従って、内訳の回答比率の合計が、グラフ記載の「その他」の回答比率と合致しない場合がある。
- ・図表および文章中で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- ・調査数（ $n$  値）が少数（概ね 30 を下回る）のものは、回答構成比の信頼性が低いため、文章中の分析では言及していない。



## II 調査結果のまとめ

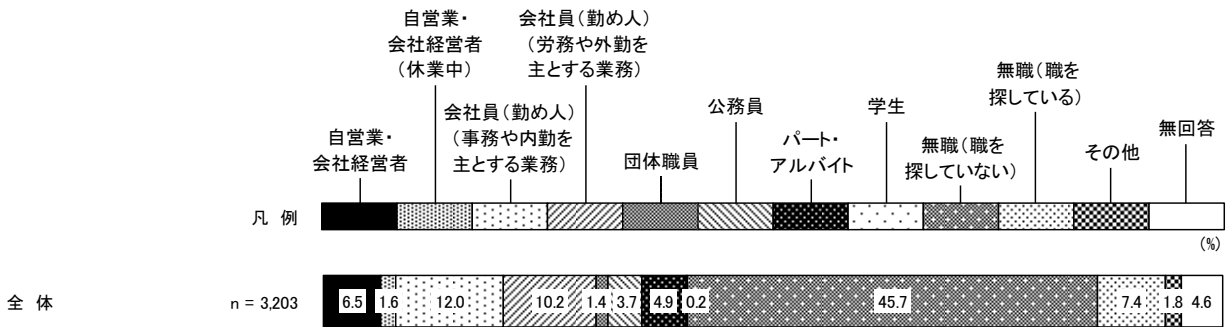


## 2-1 現在の状況

### 2-1-1 職業（問11（1））

現在の職業（就業形態）については、「無職（職を探していない・職を探している）」以外では、「会社員（勤め人）（事務や内勤を主とする業務）」が12.0%、「会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）」が10.2%と高くなっている。

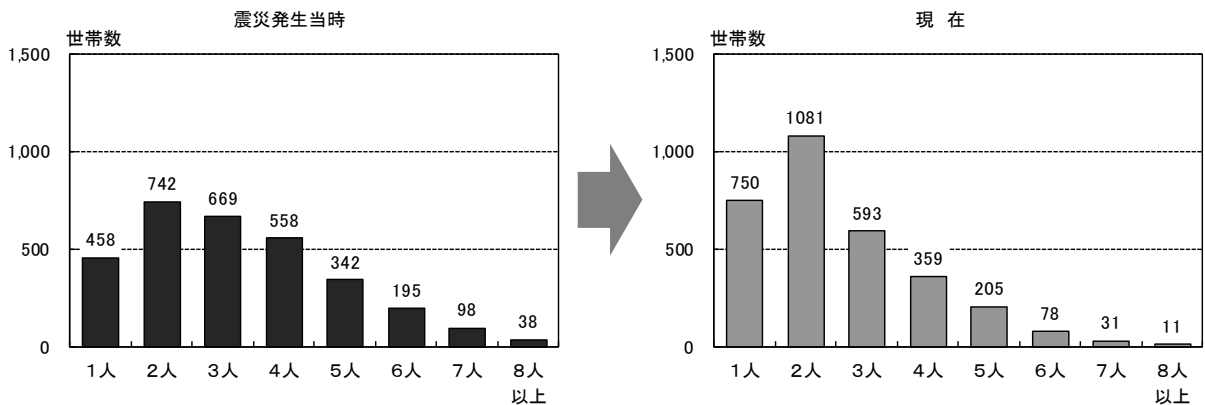
<図表2-1-1 職業>



### 2-1-2 世帯人数（問4・問8）

震災発生当時の世帯人数は、「2人」が742世帯と最も多く、次いで「3人」が669世帯、「4人」が558世帯、「1人」が458世帯となっている。  
現在の世帯人数は、「2人」が1,081世帯と最も多く、次いで「1人」が750世帯、「3人」が593世帯となっている。

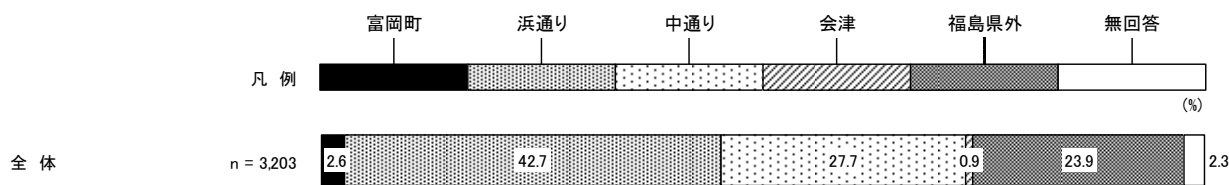
<図表2-1-2 世帯人数>



### 2-1-3 現在の居住地（問7）

現在の居住地については、「浜通り」が42.7%と最も高く、次いで「中通り」が27.7%、「福島県外」が23.9%となっている。

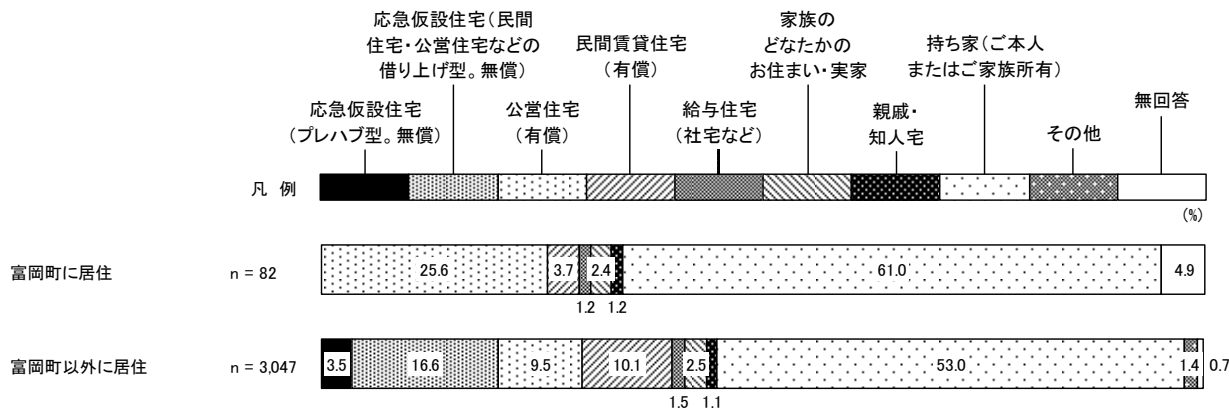
<図表2-1-3 現在の居住地>



### 2-1-4 現在の住居形態（問9）

現在の住居形態について、富岡町に居住している人では、「持ち家（ご本人またはご家族所有）」が61.0%と最も高く、次いで「公営住宅（有償）」が25.6%となっている。  
 富岡町以外に居住している人では、「持ち家（ご本人またはご家族所有）」が53.0%と最も高く、次いで「応急仮設住宅（民間住宅・公営住宅などの借上げ型。無償）」が16.6%、「民間賃貸住宅（有償）」が10.1%となっている。

<図表2-1-4 現在の住居形態（現在の居住地別）>

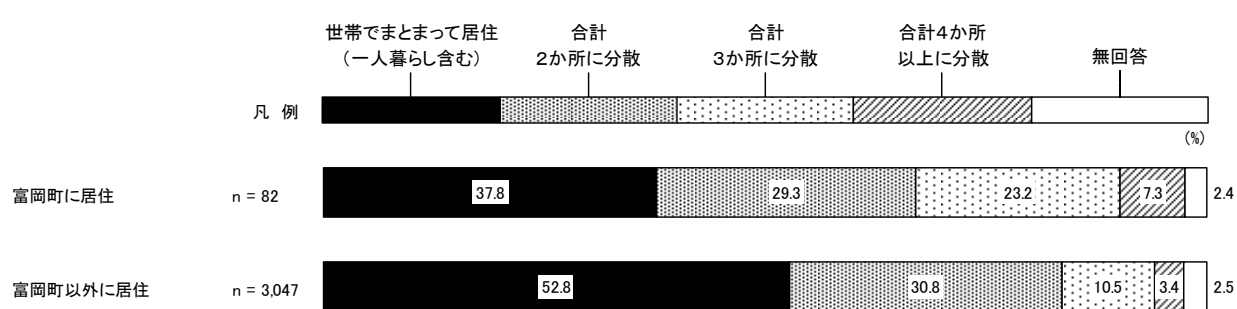


2-1-5 世帯の分散状況（問 10）

世帯の分散状況について、富岡町に居住している人では、「世帯でまとまって居住（一人暮らし含む）」が37.8%と最も高く、次いで「合計2か所に分散」が29.3%、「合計3か所に分散」が23.2%となっている。

富岡町以外に居住している人では、「世帯でまとまって居住（一人暮らし含む）」が52.8%と最も高く、次いで「合計2か所に分散」が30.8%、「合計3か所に分散」が10.5%となっている。

<図表2-1-5 世帯の分散状況（現在の居住地域別）>



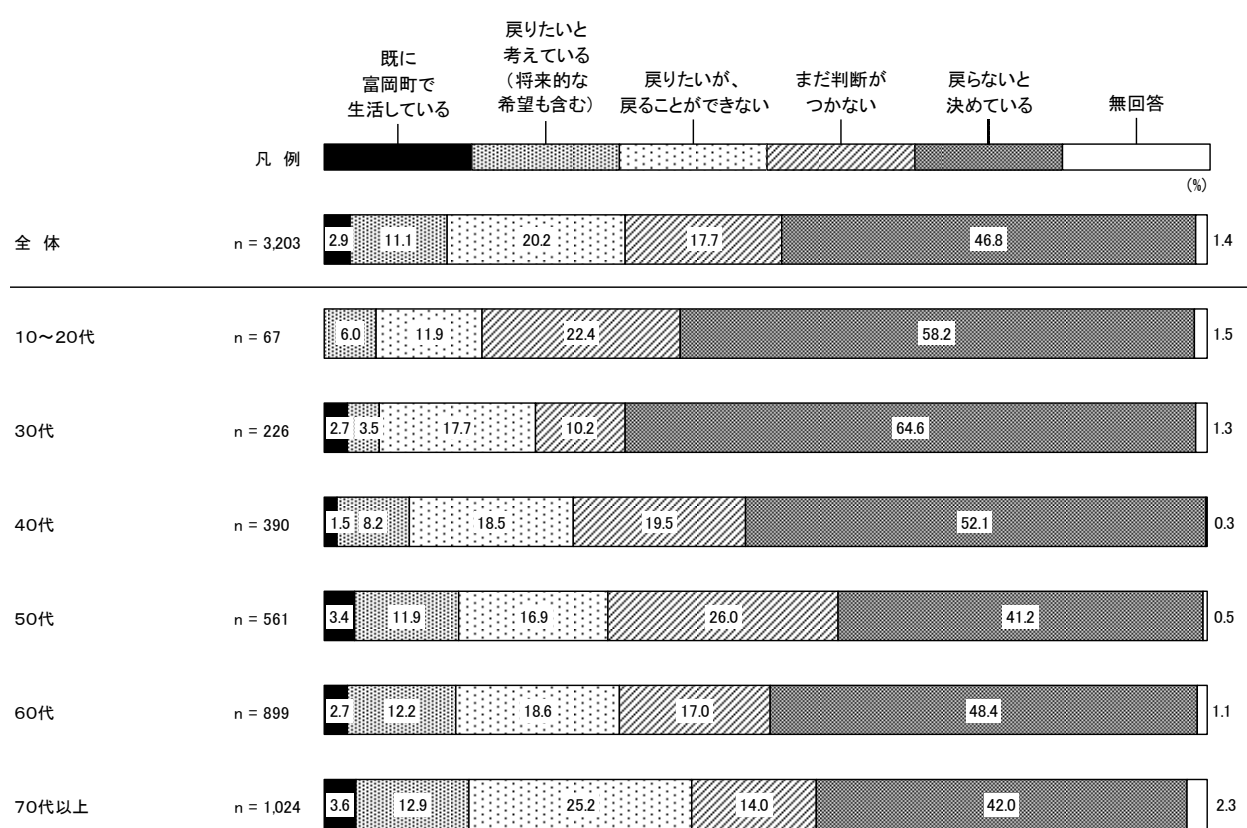
## 2-2 将来の意向

### 2-2-1 帰還の意向（問12）

富岡町への帰還について、「既に富岡町で生活している」（2.9%）、「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」（11.1%）、「戻りたいが、戻ることができない」（20.2%）をあわせると、富岡町への帰還意向のある人は34.2%となっている。

回答者の年齢別にみると、富岡町への帰還意向のある人は年代が上がるにつれて高く、70代以上では41.7%となっている。一方、「戻らないと決めている」は若年層で高く、10~20代で58.2%、30代で64.6%、40代で52.1%と過半数を占めている。

<図表2-2-1 帰還の意向（年齢別）>

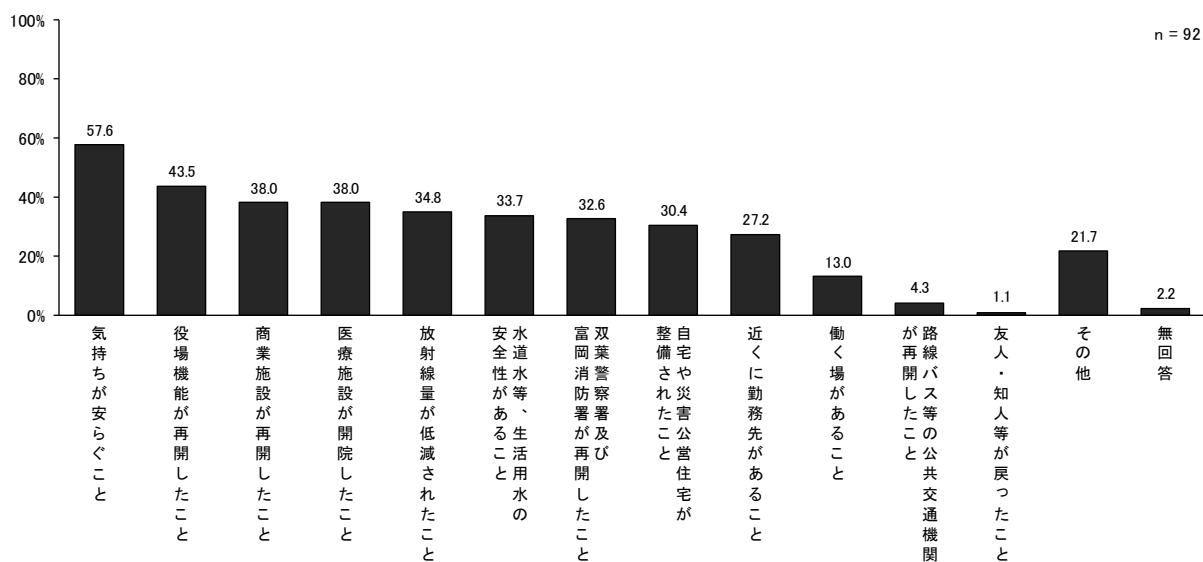




## 2-2-2 富岡町に戻ることを決めた理由（問 13）

富岡町に戻ることを決めた理由については、「気持ちが安らぐこと」が57.6%と最も高く、次いで「役場機能が再開したこと」が43.5%、「商業施設が再開したこと」、「医療施設が開院したこと」がともに38.0%となっている。

<図表2-2-2 富岡町に戻ることを決めた理由>

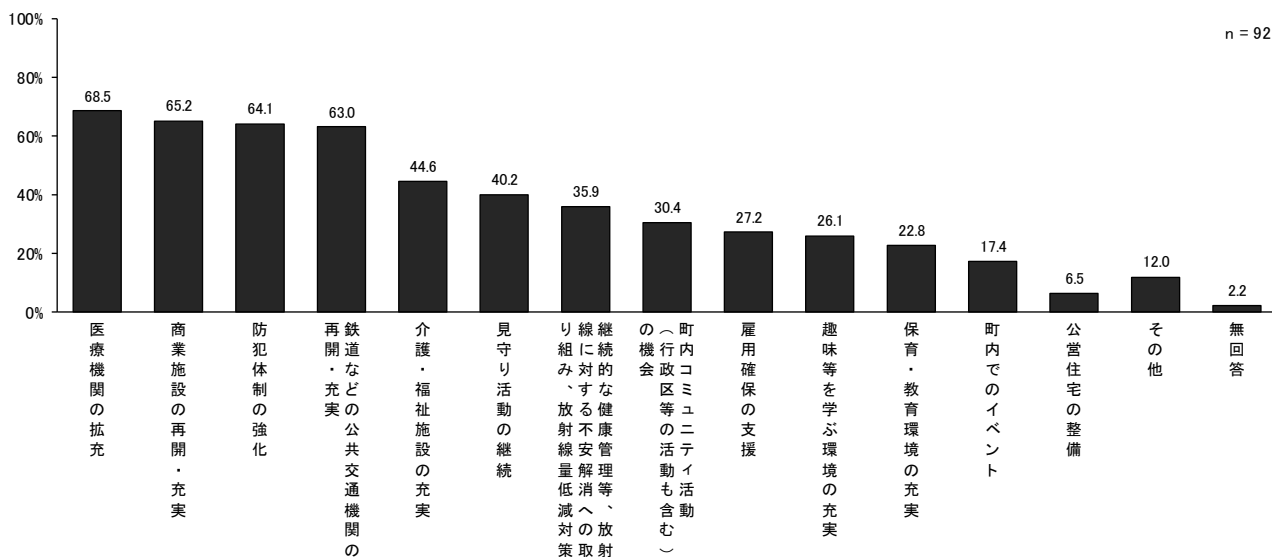


※問 12 で「既に富岡町で生活している」と回答した方のみ

2-2-3 今後の生活において必要だと感じていること（問 14）

今後の生活において必要だと感じていることについては、「医療機関の拡充」が68.5%と最も高く、次いで「商業施設の再開・充実」が65.2%、「防犯体制の強化」が64.1%、「鉄道などの公共交通機関の再開・充実」が63.0%となっている。

<図表2-2-3 今後の生活において必要だと感じていること>

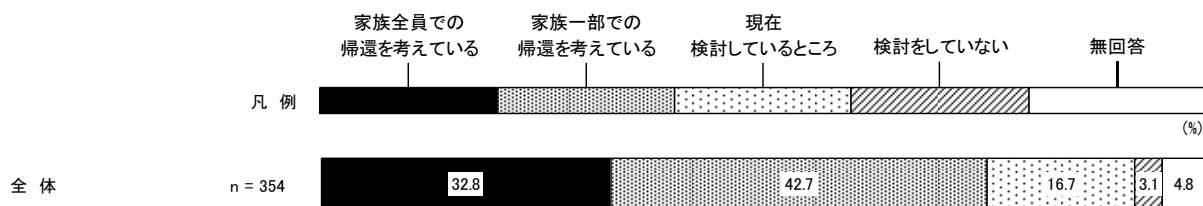


※問 12 で「既に富岡町で生活している」と回答した方のみ

2-2-4 帰還する場合の家族（問 15）

帰還する場合の家族については、「家族一部での帰還を考えている」が42.7%と最も高く、次いで「家族全員での帰還を考えている」が32.8%、「現在検討しているところ」が16.7%となっている。

<図表2-2-4 帰還する場合の家族>

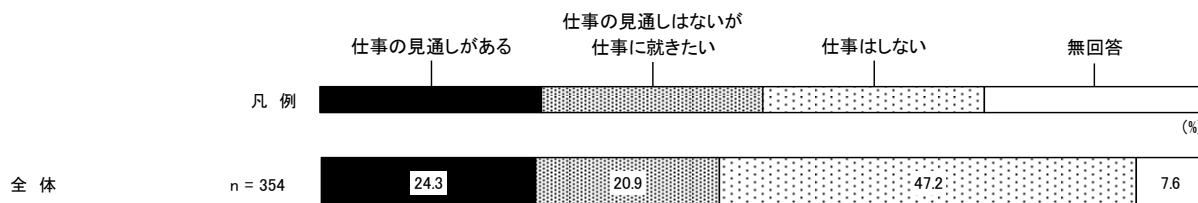


※問 12 で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ

### 2-2-5 帰還した場合の仕事の見通し (問 16)

富岡町へ帰還した場合の仕事の見通しについては、「仕事の見通しがある」が24.3%、「仕事の見通しはないが仕事に就きたい」が20.9%、「仕事はしない」が47.2%となっている。

<図表2-2-5 帰還した場合の仕事の見通し>

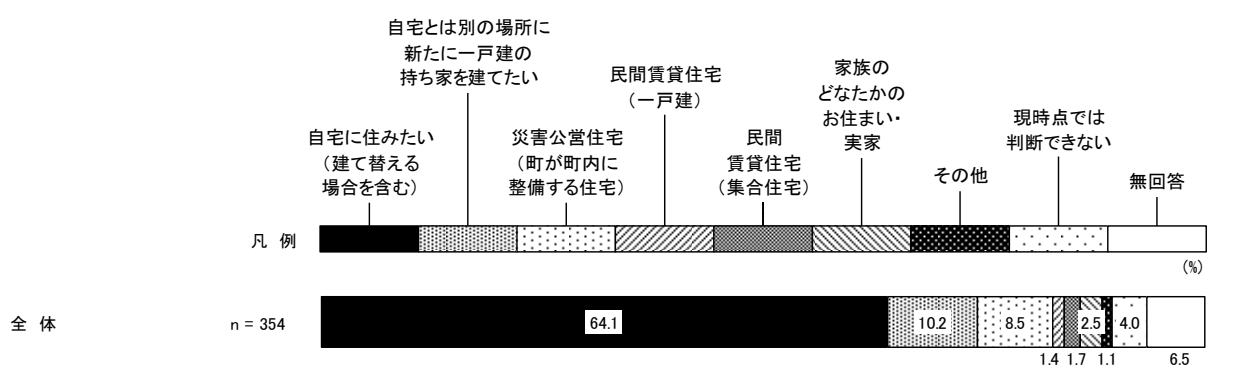


※問 12 で「戻りたいと考えている (将来的な希望も含む)」と回答した方のみ

### 2-2-6 帰還した場合の住居形態 (問 18)

帰還した場合の住居形態については、「自宅に住みたい (建て替える場合を含む)」が64.1%と最も高く、次いで「自宅とは別の場所に新たに一戸建の持ち家を建てたい」が10.2%、「災害公営住宅 (町が町内に整備する住宅)」が8.5%となっている。

<図表2-2-6 帰還した場合の住居形態>

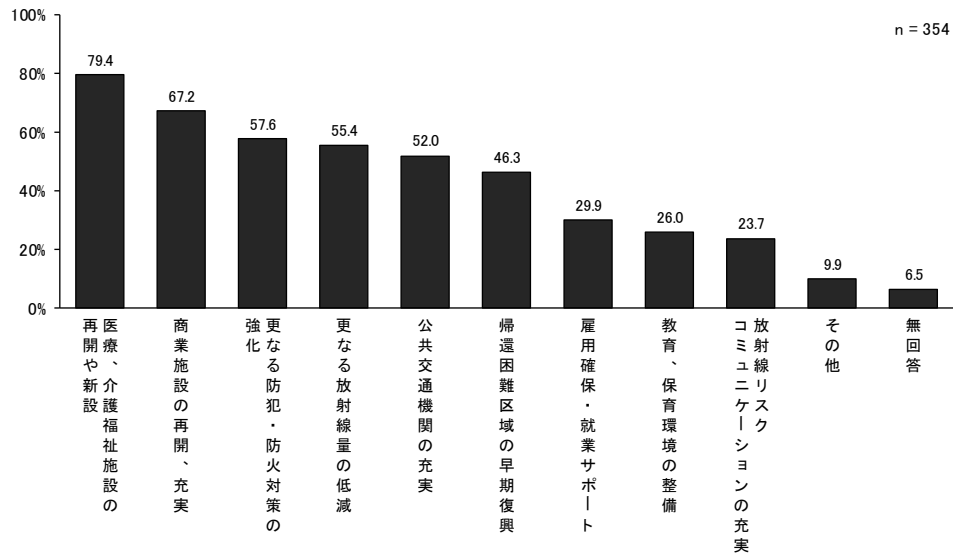


※問 12 で「戻りたいと考えている (将来的な希望も含む)」と回答した方のみ

2-2-7 帰還する場合に必要な施策（問 19）

帰還する場合に必要な施策については、「医療、介護福祉施設の再開や新設」が79.4%と最も高く、次いで「商業施設の再開、充実」が67.2%、「更なる防犯・防火対策の強化」が57.6%となっている。

<図表2-2-7 帰還する場合に必要な施策>

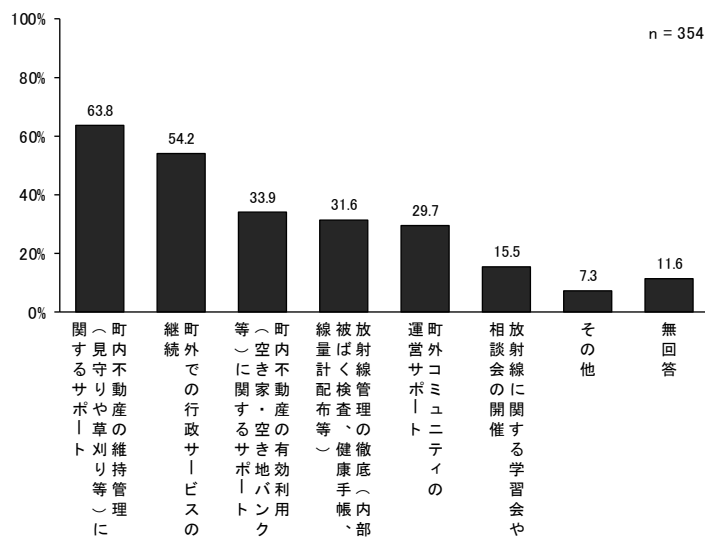


※問 12 で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ

## 2-2-8 帰還するまでに必要な施策（問 20）

帰還するまでに必要な施策については、「町内不動産の維持管理（見守りや草刈り等）に関するサポート」が63.8%と最も高く、次いで「町外での行政サービスの継続」が54.2%、「町内不動産の有効利用（空き家・空き地バンク等）に関するサポート」が33.9%となっている。

<図表2-2-8 帰還するまでに必要な施策>

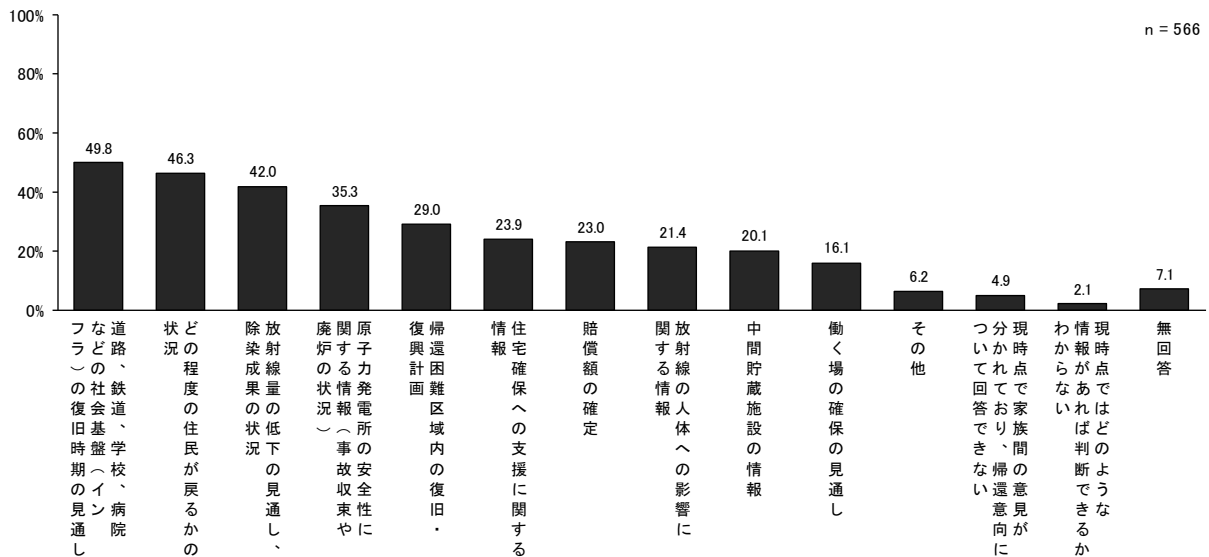


※問 12 で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ

2-2-9 帰還を判断する上で必要な情報（問 22）

帰還を判断する上で必要な情報については、「道路、鉄道、学校、病院などの社会基盤（インフラ）の復旧時期の見通し」が49.8%と最も高く、次いで「どの程度の住民が戻るかの状況」が46.3%、「放射線量の低下の見通し、除染成果の状況」が42.0%となっている。

<図表2-2-9 帰還を判断する上で必要な情報>



※問 12 で「まだ判断がつかない」と回答した方のみ

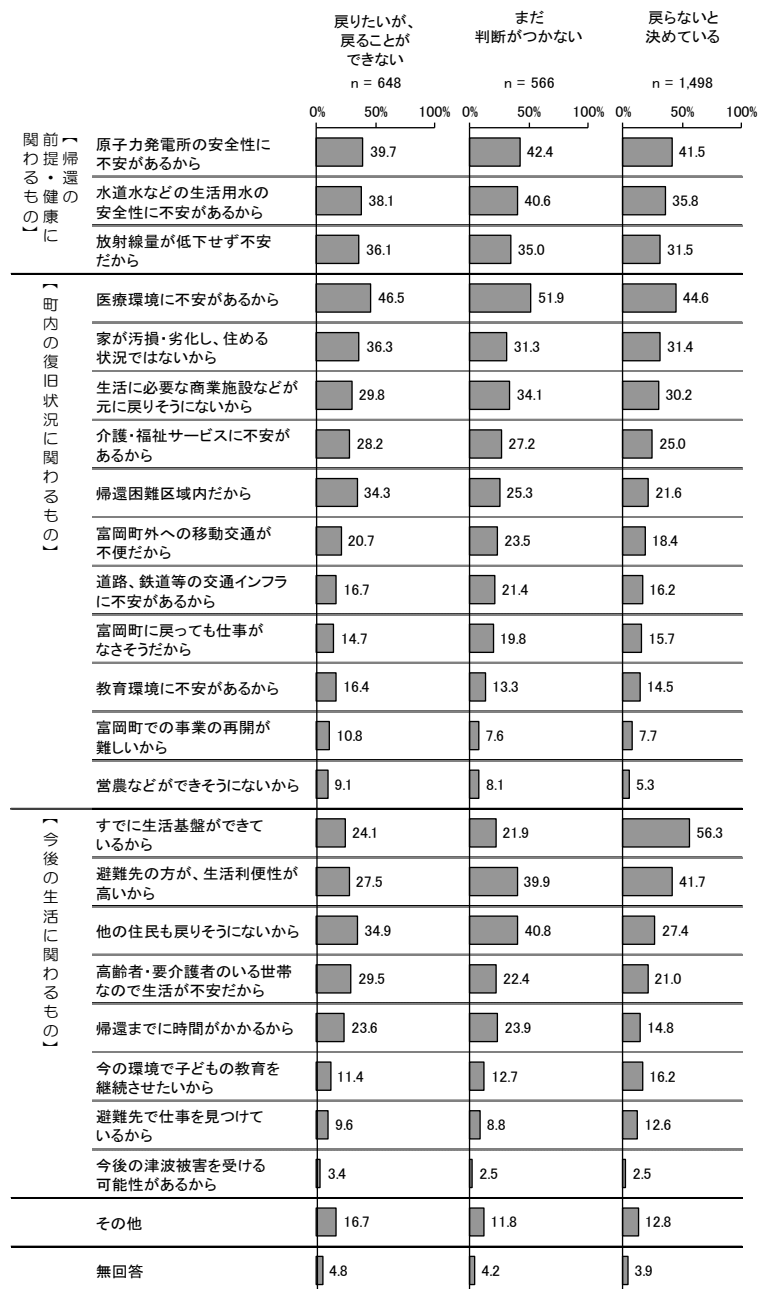
2-2-10 「戻りたいが戻れない」「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」理由（問21・問24）

富岡町への帰還について、「戻りたいが、戻ることができない」理由は、「医療環境に不安があるから」が46.5%で最も高く、次いで「原子力発電所の安全性に不安があるから」が39.7%、「水道水などの生活用水の安全性に不安があるから」が38.1%となっている。

富岡町への帰還について、「まだ判断がつかない」理由は、「医療環境に不安があるから」が最も高く51.9%、次いで「原子力発電所の安全性に不安があるから」(42.4%)、「他の住民も戻りそうにないから」(40.8%)、「水道水などの生活用水の安全性に不安があるから」(40.6%)、「避難先の方が、生活利便性が高いから」(39.9%)が4割前後と高くなっている。

富岡町への帰還について、「戻らないと決めている」理由は、「すでに生活基盤ができてきているから」が56.3%で最も高く、次いで「医療環境に不安があるから」(44.6%)、「避難先の方が、生活利便性が高いから」(41.7%)、「原子力発電所の安全性に不安があるから」(41.5%)が4割以上と高くなっている。

＜図表2-2-10 「戻りたいが戻れない」「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」理由＞



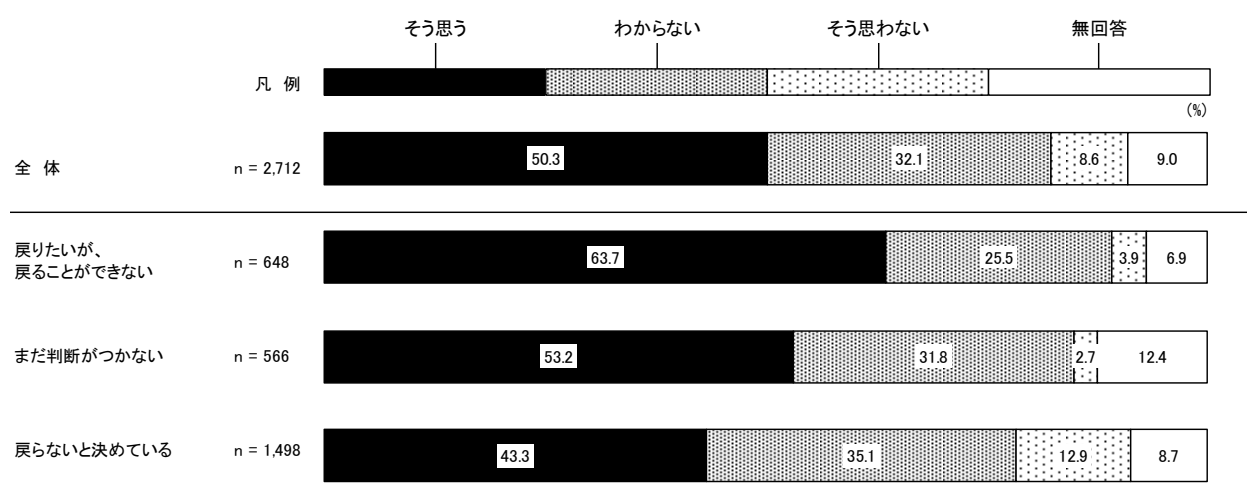
※問12で「戻りたいが、戻ることができない」「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ

2-2-11 富岡町との「つながり」を保ちたいか（問 23・問 25）

帰還について、戻りたいが、戻ることができない場合、まだ判断がつかない場合、あるいは戻らないと決めている場合に、富岡町との「つながり」を保ちたいかについては、「そう思う」が50.3%、次いで「わからない」が32.1%、「そう思わない」が8.6%となっている。

帰還意向別にみると、戻りたいが、戻ることができない人では、「そう思う」が63.7%と高い。

<図表2-2-11 富岡町との「つながり」を保ちたいか（帰還意向別）>



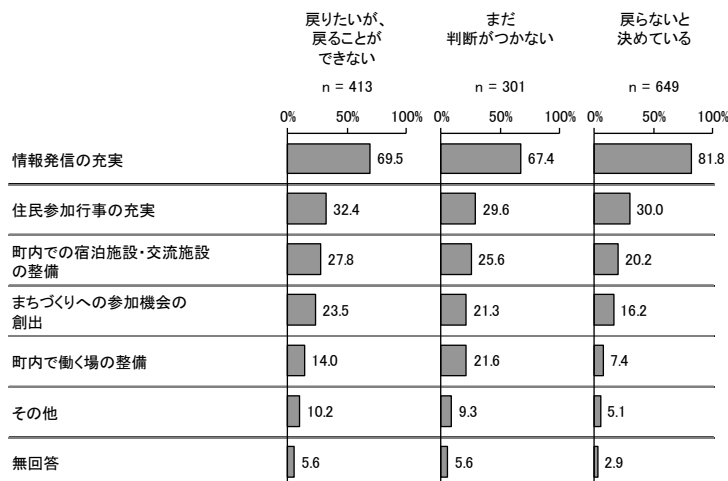
※問 12 で「戻りたいが、戻ることができない」「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ



### 2-2-12 富岡町との「つながり」を保つために必要な施策（問 23-1・問 25-1）

富岡町との「つながり」を保つために必要な施策については、いずれの帰還意向においても、「情報発信の充実」が最も高く、次いで「住民参加行事の充実」、「町内での宿泊施設・交流施設の整備」となっている。

<図表2-2-12 富岡町との「つながり」を保つために必要な施策（帰還意向別）>

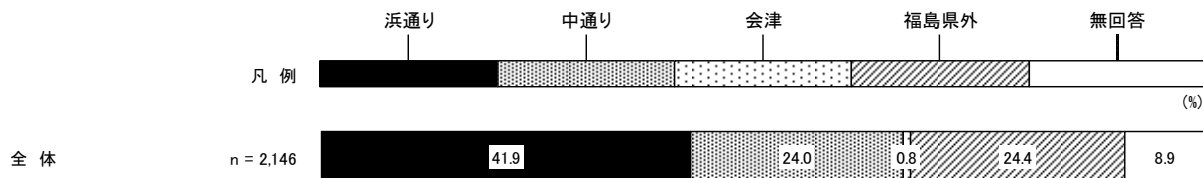


※問 12 で「戻りたいが、戻ることができない」「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答回答した方のみ

### 2-2-13 帰還しない場合に居住を希望する地域（問 26）

帰還しない場合に居住を希望する地域については、「浜通り」が41.9%と最も高く、次いで「福島県外」が24.4%、「中通り」が24.0%となっている。

<図表2-2-13 帰還しない場合に居住を希望する地域>

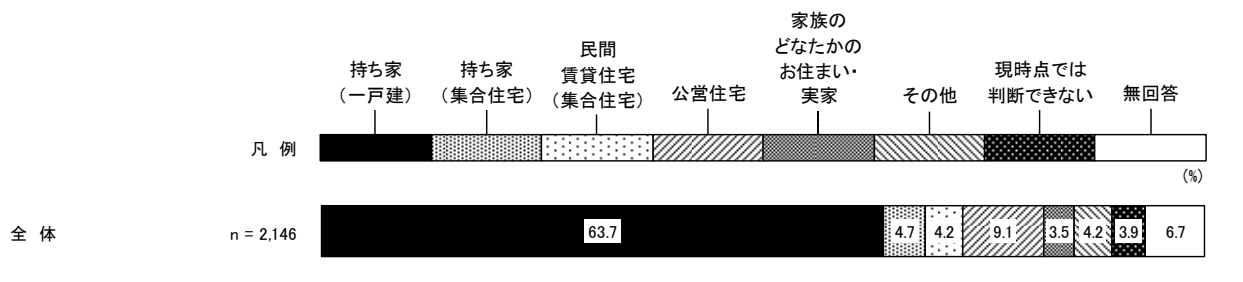


※問 12 で「戻りたいが、戻ることができない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ

2-2-14 帰還しない場合に居住を希望する住居形態（問 27）

帰還しない場合に居住を希望する住居形態については、「持ち家（一戸建）」が63.7%と最も高く、6割以上を占めている。

<図表2-2-14 帰還しない場合に居住を希望する住居形態>

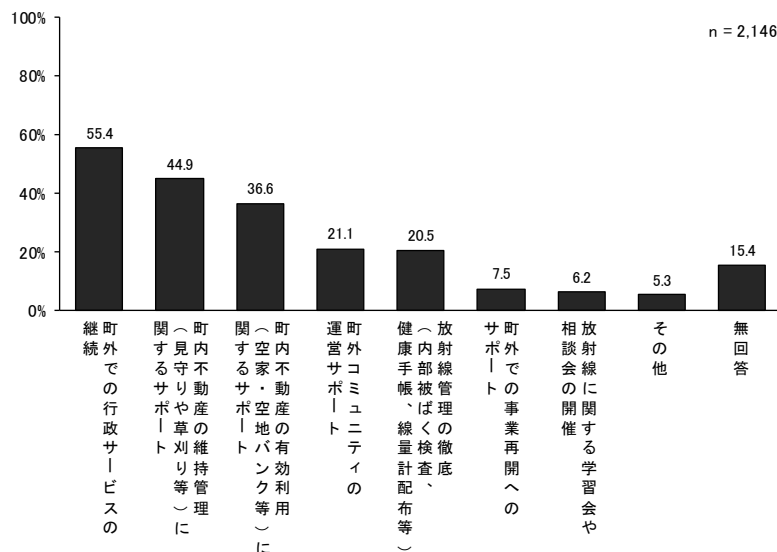


※問 12 で「戻りたいが、戻ることができない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ

2-2-15 町外生活者へのサポートとして必要な施策（問 28）

町外で生活者へのサポートとして必要な施策については、「町外での行政サービスの継続」が55.4%と最も高く、次いで「町内不動産の維持管理（見守りや草刈り等）に関するサポート」が44.9%、「町内不動産の有効利用（空家・空地バンク等）に関するサポート」が36.6%となっている。

<図表2-2-15 町外生活者へのサポートとして必要な施策>



※問 12 で「戻りたいが、戻ることができない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ

### **III 調査結果**

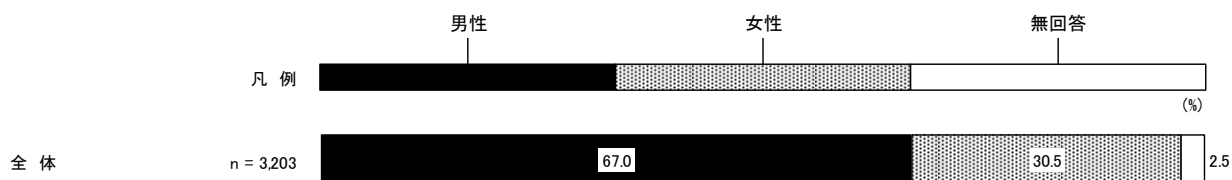


### 3-1 回答者の属性

#### 3-1-1 性別

問1 性別を教えてください。(〇は1つ)

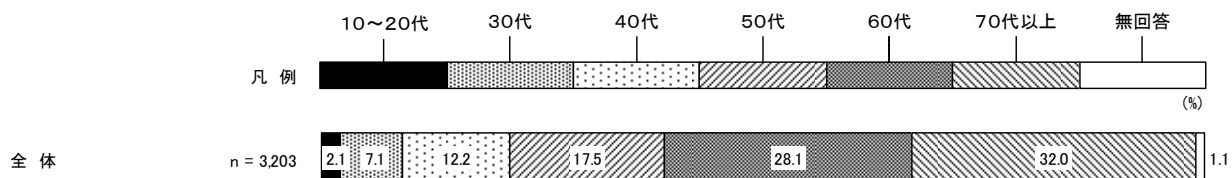
<図表3-1-1 性別>



#### 3-1-2 年齢

問2 あなたの現在の年齢を教えてください。(〇は1つ)

<図表3-1-2 年齢>

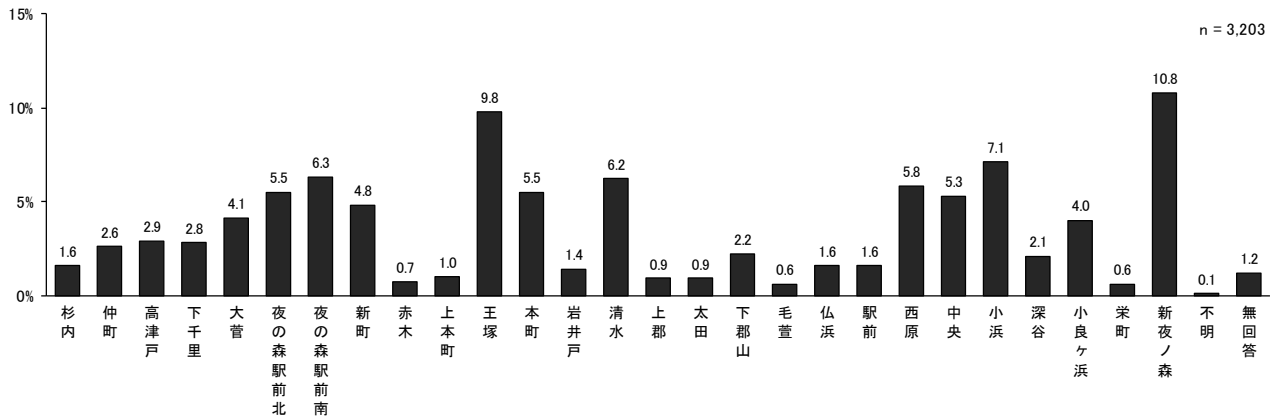


### 3-2 東日本大震災発生時の状況

#### 3-2-1 震災発生当時の住まいの行政区

問3 震災発生当時にお住まいだった行政区を教えてください。(〇は1つ)

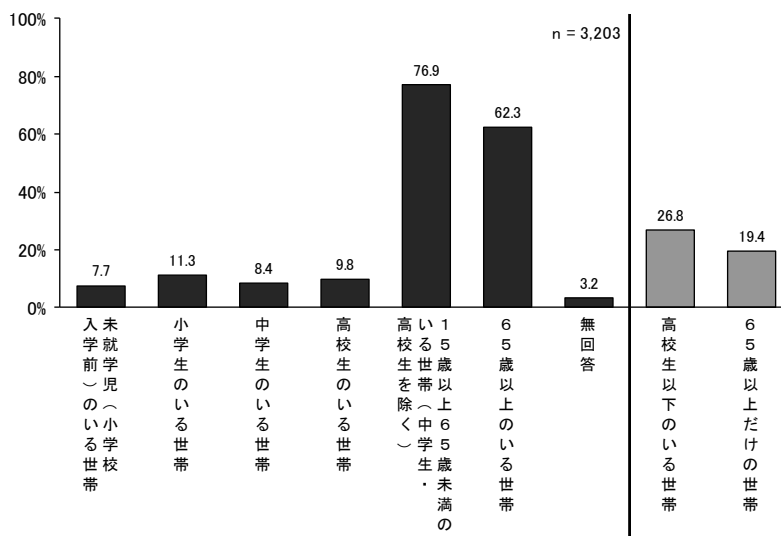
<図表3-2-1 震災発生当時の住まいの行政区>



#### 3-2-2 震災発生当時の世帯構成

問4 震災発生時に、あなたを含めて一緒に住んでいた方の人数を教えてください。  
あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

<図表3-2-2 震災発生当時の世帯構成>

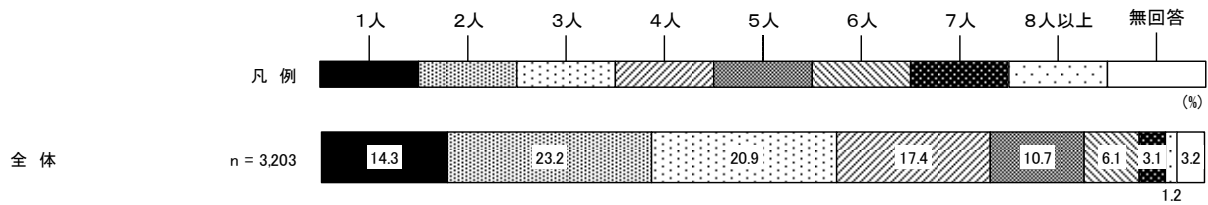


\* 集計結果を基に再集計

### 3-2-3 震災発生当時の世帯人数

問4 震災発生時に、あなたを含めて一緒に住んでいた方の人数を教えてください。  
あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

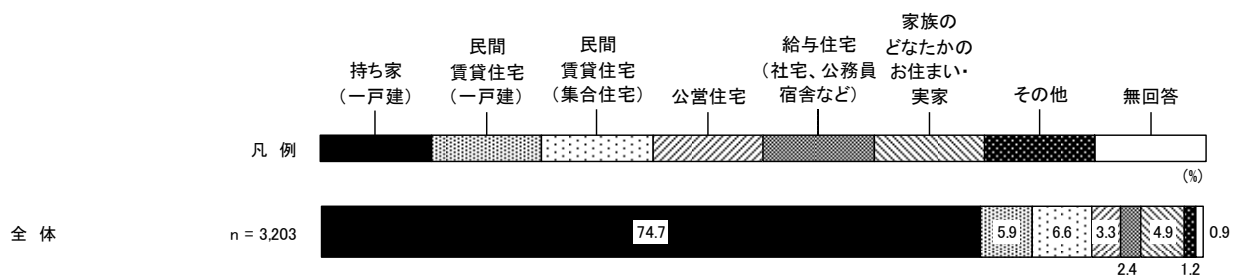
<図表3-2-3 震災発生当時の世帯人数>



### 3-2-4 震災発生当時の住居形態

問5 震災発生当時にお住まいだった住宅の形態を教えてください。(〇は1つ)

<図表3-2-4 震災発生当時の住居形態>



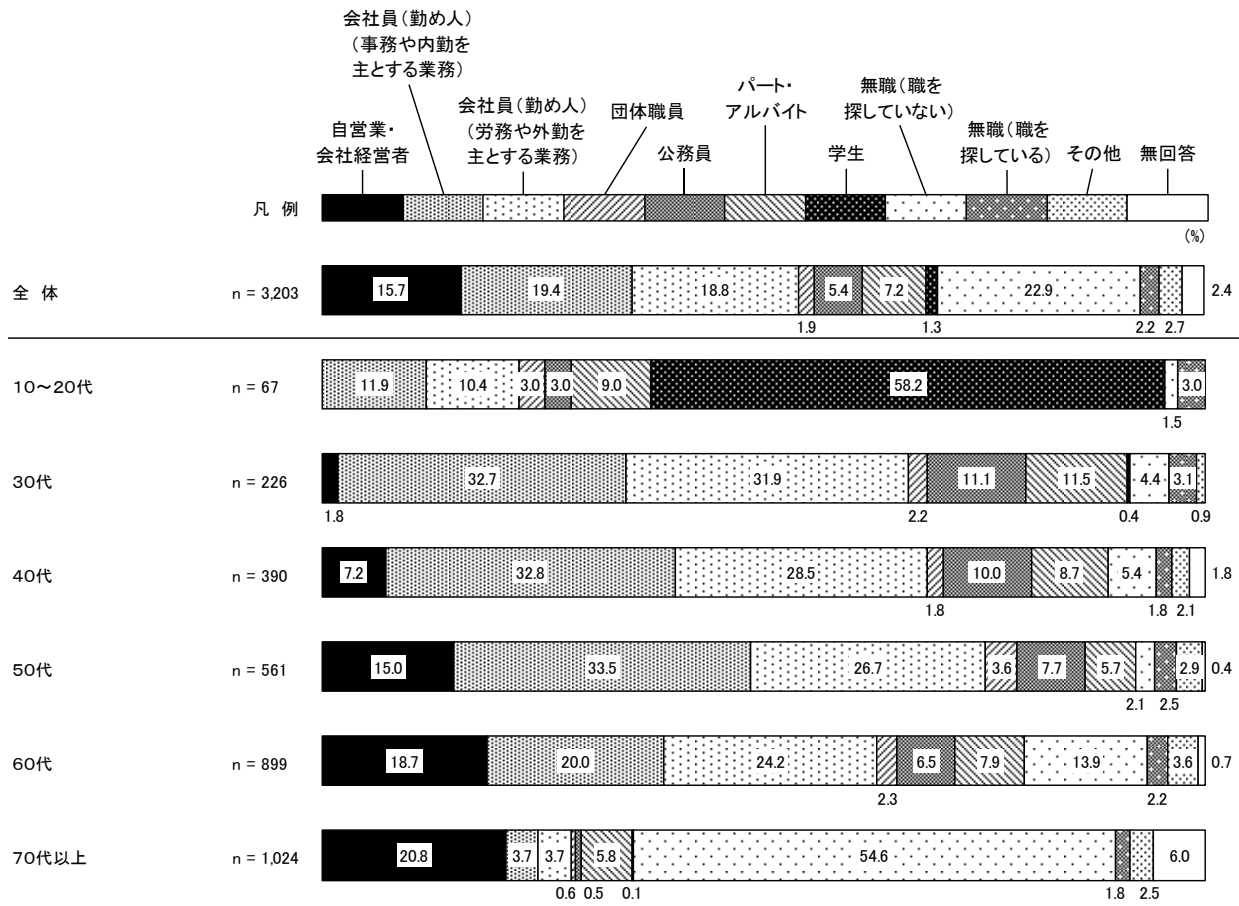
〔その他の内訳〕

持ち家 (集合住宅)	0.3%
親戚・知人宅	0.3%
その他	0.6%

### 3-2-5 震災発生当時の職業（就業形態）

問6 震災発生当時のあなたの職業と業種を教えてください。なお、2つ以上の職業を持っていた場合には、主な収入源になっていた職業を選択してください。  
 (1) 震災発生当時のあなたの職業（就業形態）（○は1つ）

<図表3-2-5 震災発生当時の職業（就業形態）（年齢別）>





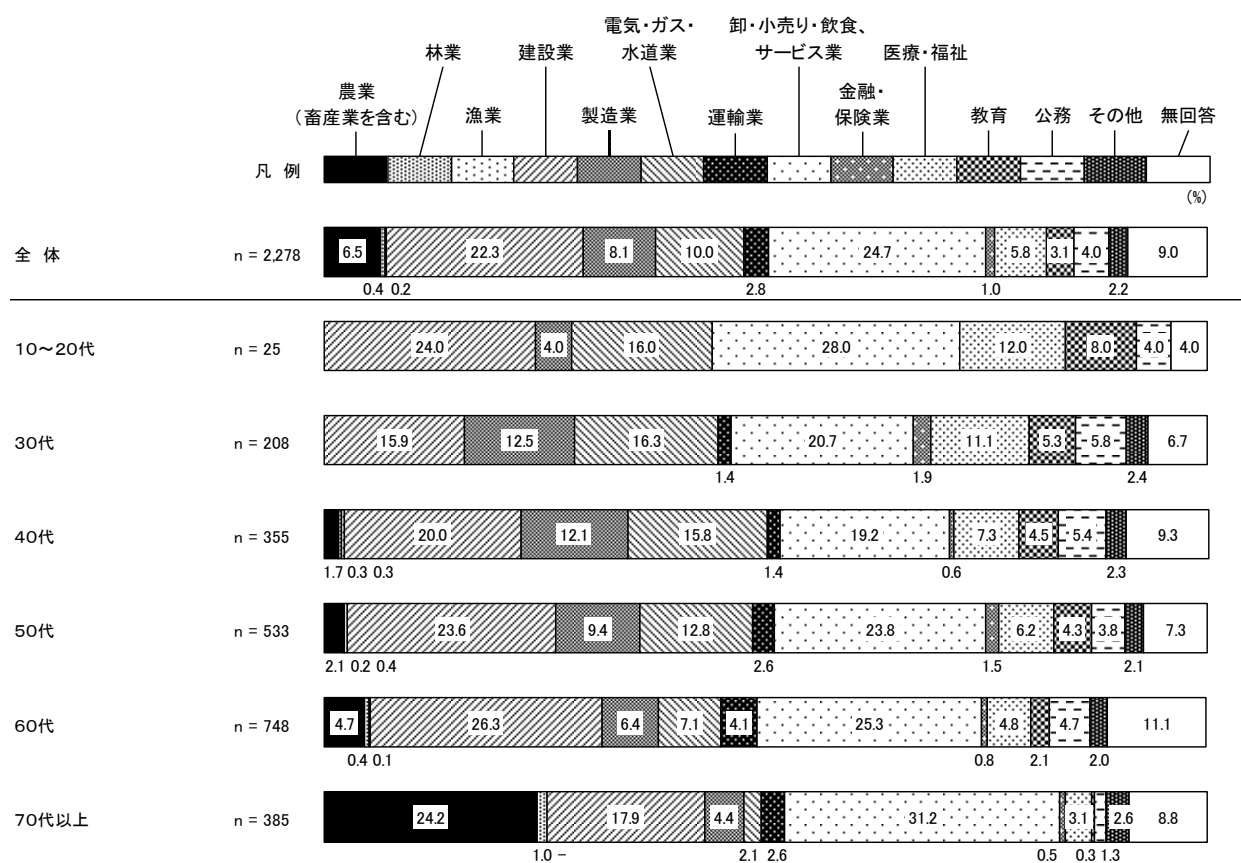
### 3-2-6 震災発生当時の業種

【就業していた方（問6（1）で「1」から「6」、「10」と回答した方）にうかがいます。】

問6 震災発生当時のあなたの職業と業種を教えてください。なお、2つ以上の職業を持っていた場合には、主な収入源になっていた職業を選択してください。

（2）震災発生当時のあなたの業種（〇は1つ）

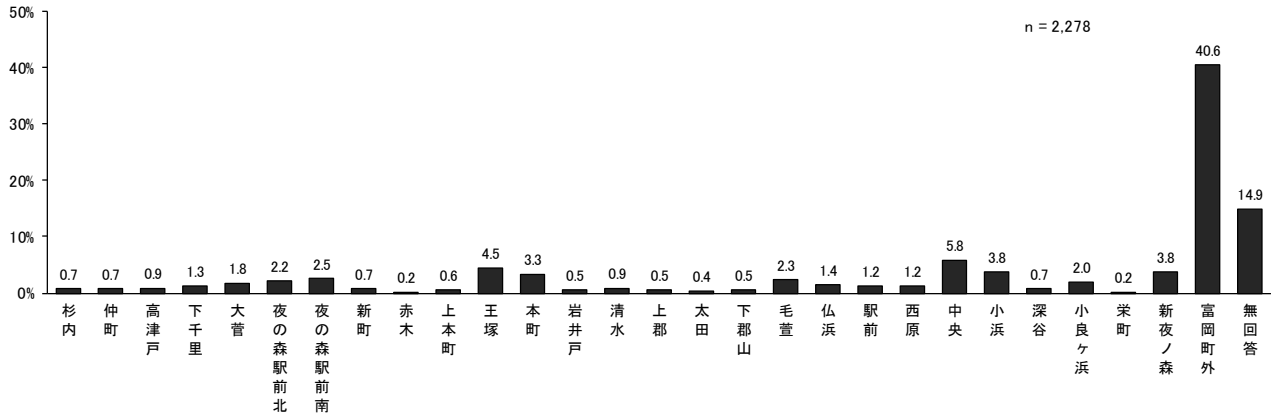
<図表3-2-6 震災発生当時の業種（年齢別）>



3-2-7 震災発生当時の勤務先の場所

【就業していた方（問6（1）で「1」から「6」、「10」と回答した方）にうかがいます。】  
 問6 震災発生当時のあなたの職業と業種を教えてください。なお、2つ以上の職業を持っていた場合には、主な収入源になっていた職業を選択してください。  
 （3）震災発生当時の勤務先の場所（〇は1つ）

<図表3-2-7 震災発生当時の勤務先の場所>

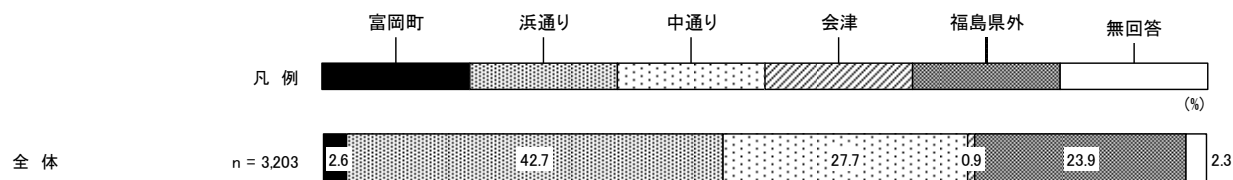


### 3-3 現在の状況

#### 3-3-1 現在の居住地

問7 あなたが現在お住まいの地域を教えてください。(〇は1つ)

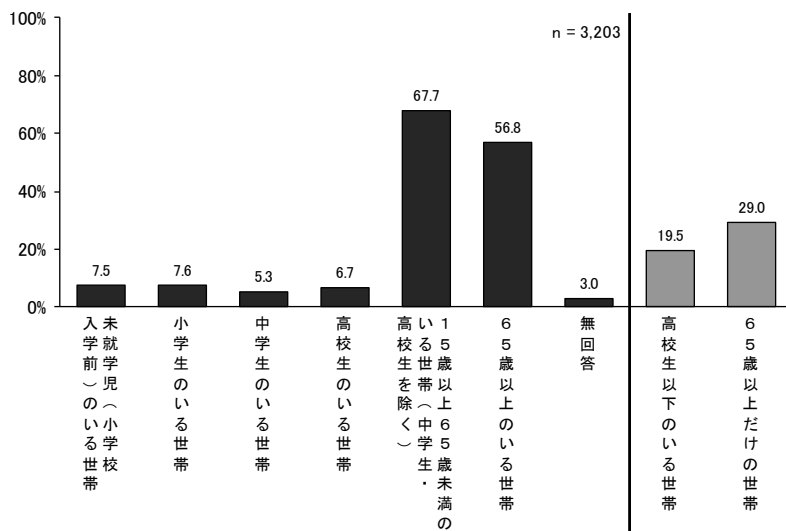
<図表3-3-1 現在の居住地>



#### 3-3-2 現在の世帯構成

問8 現在、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。  
あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

<図表3-3-2 現在の世帯構成>

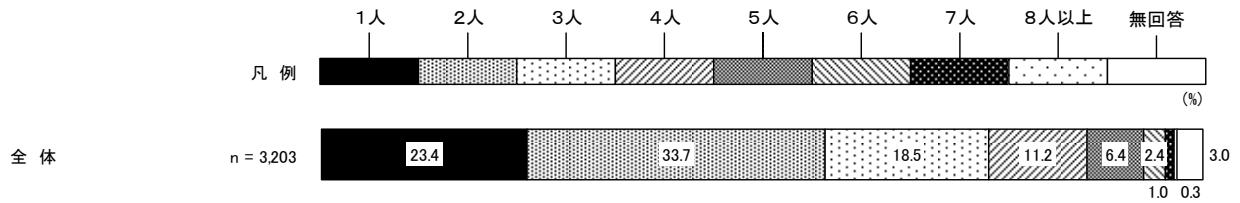


\*集計結果を基に再集計

### 3-3-3 現在の世帯人数

問8 現在、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。  
あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

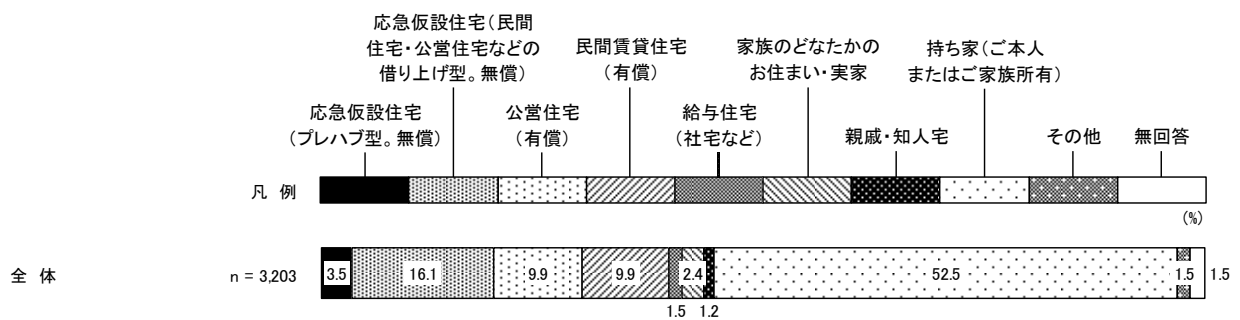
<図表3-3-3 現在の世帯人数>



### 3-3-4 現在の住居形態

問9 現在お住まいになっている住宅の形態を教えてください。(〇は1つ)

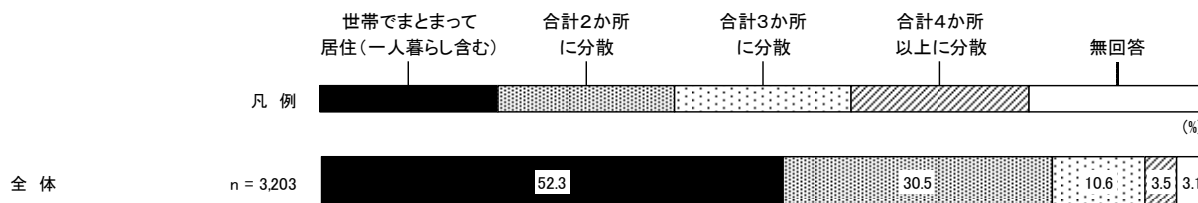
<図表3-3-4 現在の住居形態>



### 3-3-5 世帯の分散状況

問 10 震災発生当時ご一緒にお住まいだったご家族は、現在、何か所に分散してお住まいですか。(〇は1つ)

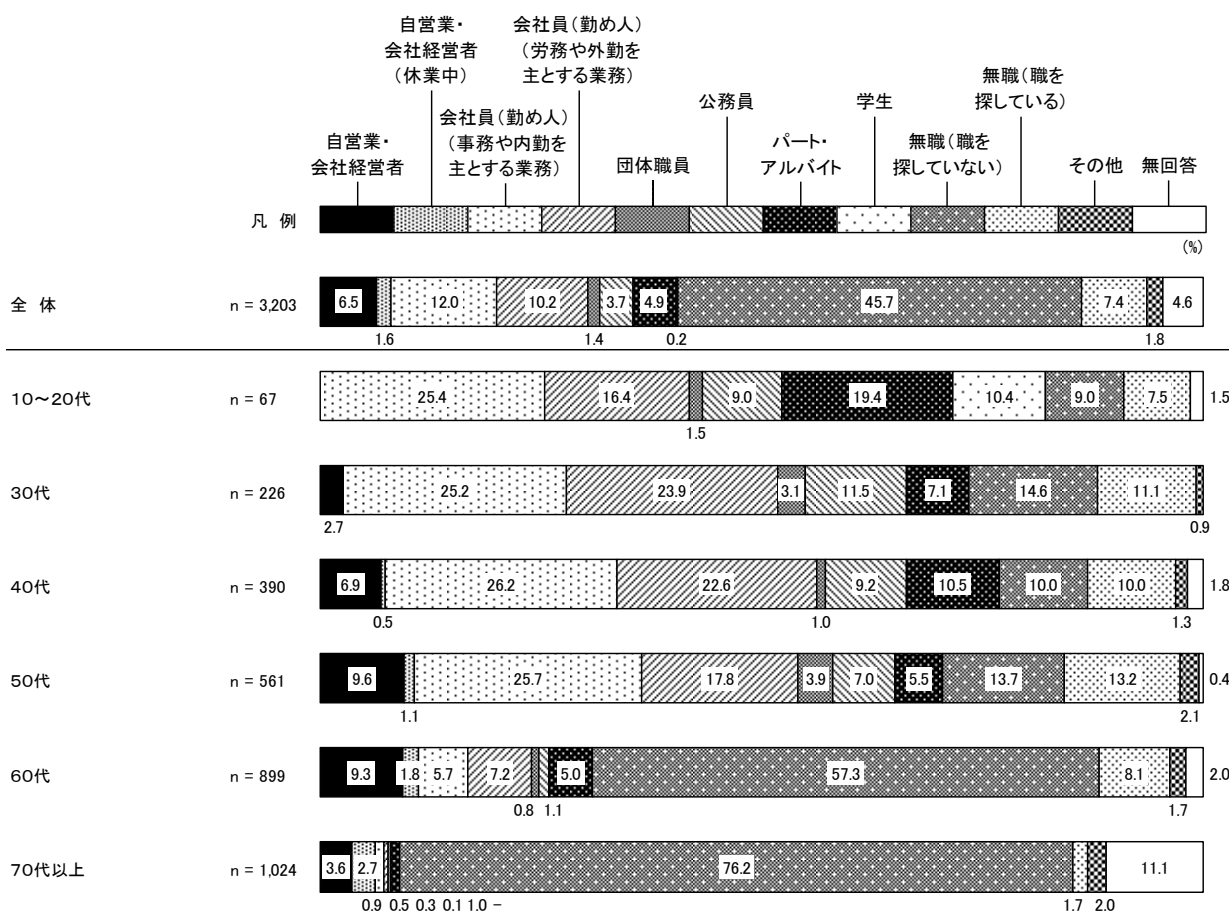
<図表3-3-5 世帯の分散状況>



### 3-3-6 現在の職業(就業形態)

問 11 現在のあなたの職業と業種を教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合には、主な収入源になっている職業を選択してください。  
(1) 現在のあなたの職業(就業形態)(〇は1つ)

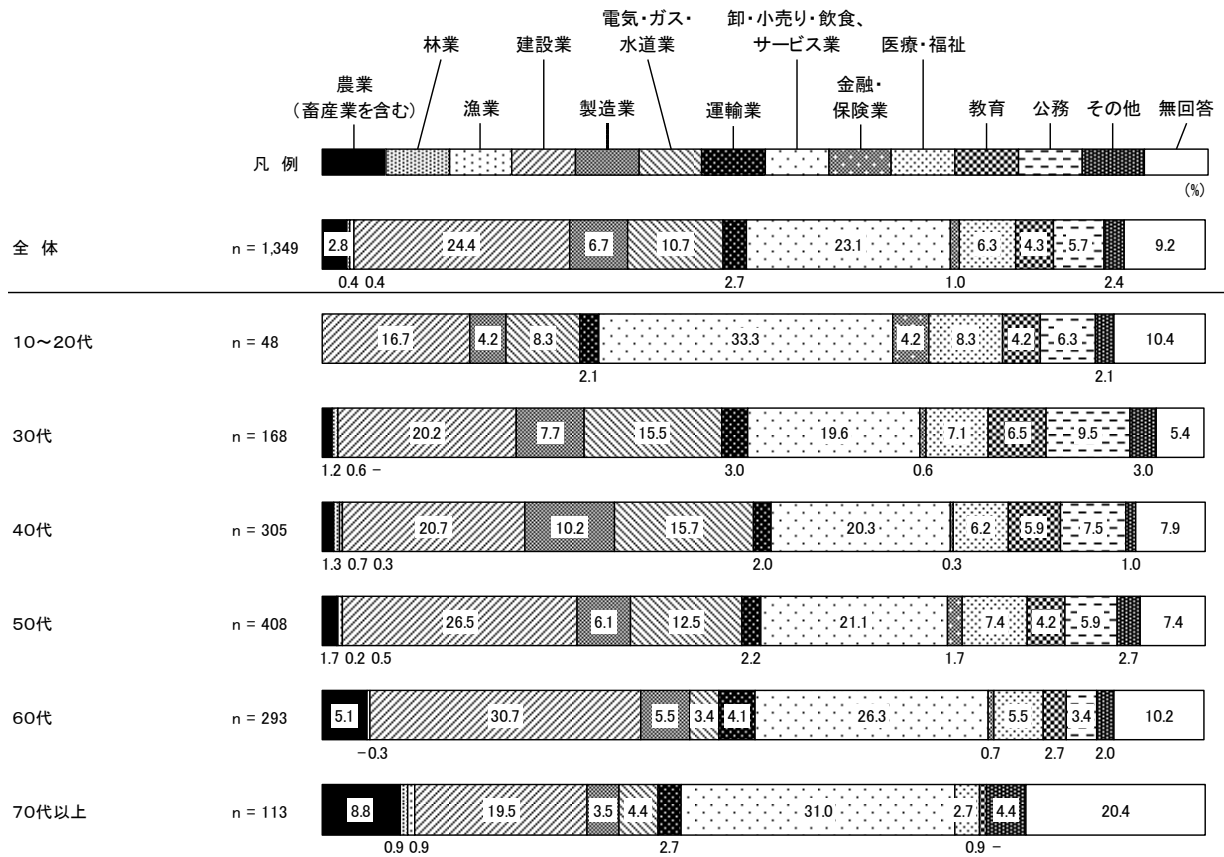
<図表3-3-6 現在の職業(就業形態)(年齢別)>



3-3-7 現在の業種

【就業していた方（問11（1）で「1」から「7」、「11」と回答した方）にうかがいます。】  
 問11 現在のあなたの職業と業種を教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合には、主な収入源になっている職業を選択してください。  
 （2）現在のあなたの業種（○は1つ）

<図表3-3-7 現在の業種（年齢別）>

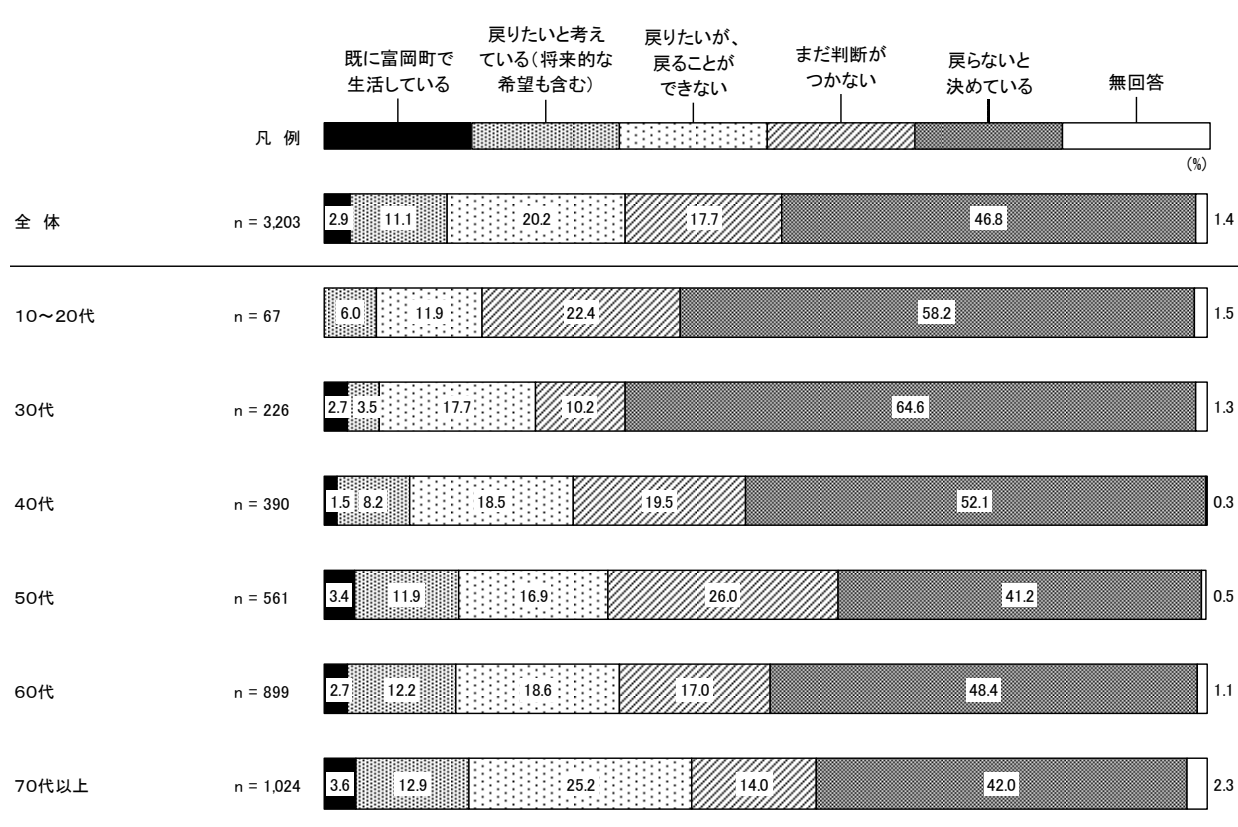


### 3-4 将来の意向

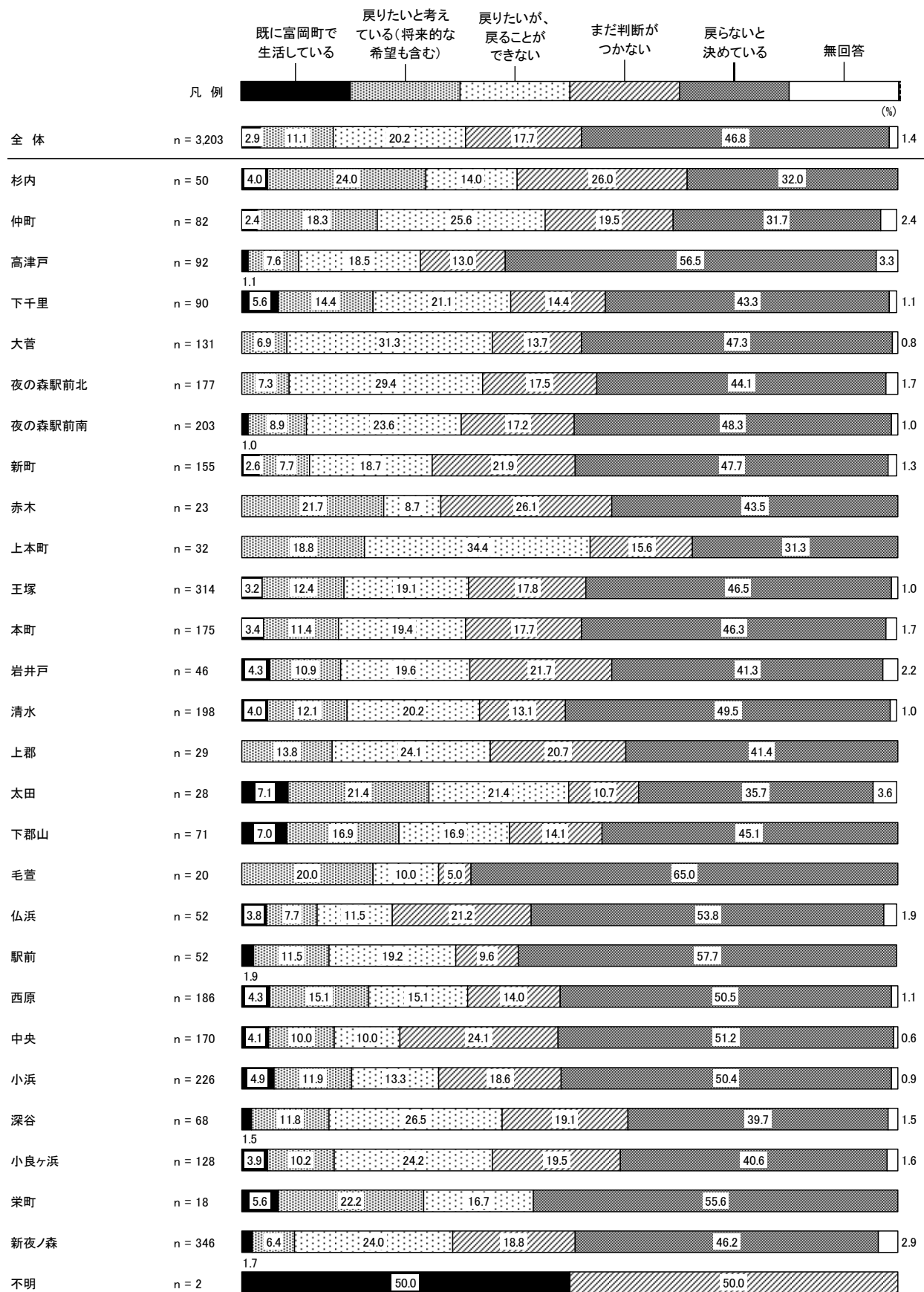
#### 3-4-1 富岡町への帰還についての考え

問 12 富岡町への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。「1」から「5」の中から1つ選び、それぞれの質問にお答えください。(〇は1つ)

<図表3-4-1-1 富岡町への帰還についての考え(年齢別)>



<図表3-4-1-2 富岡町への帰還についての考え（震災発生当時の住まいの行政区別）>

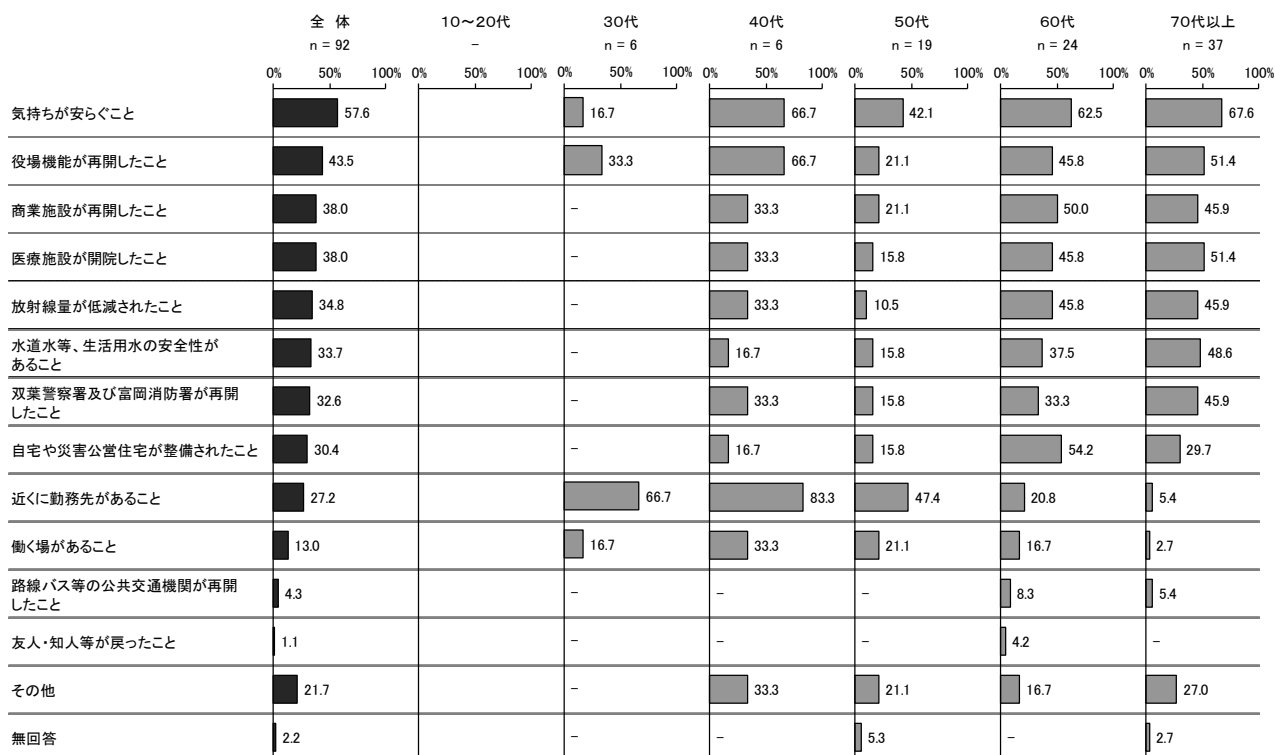




### 3-4-2 町内での生活を決めた判断材料

【問 12 で「1. 既に富岡町で生活している」と回答した方にうかがいます。】  
 問 13 町内での生活を決めた判断材料は、どのようなことですか。(〇はいくつでも)

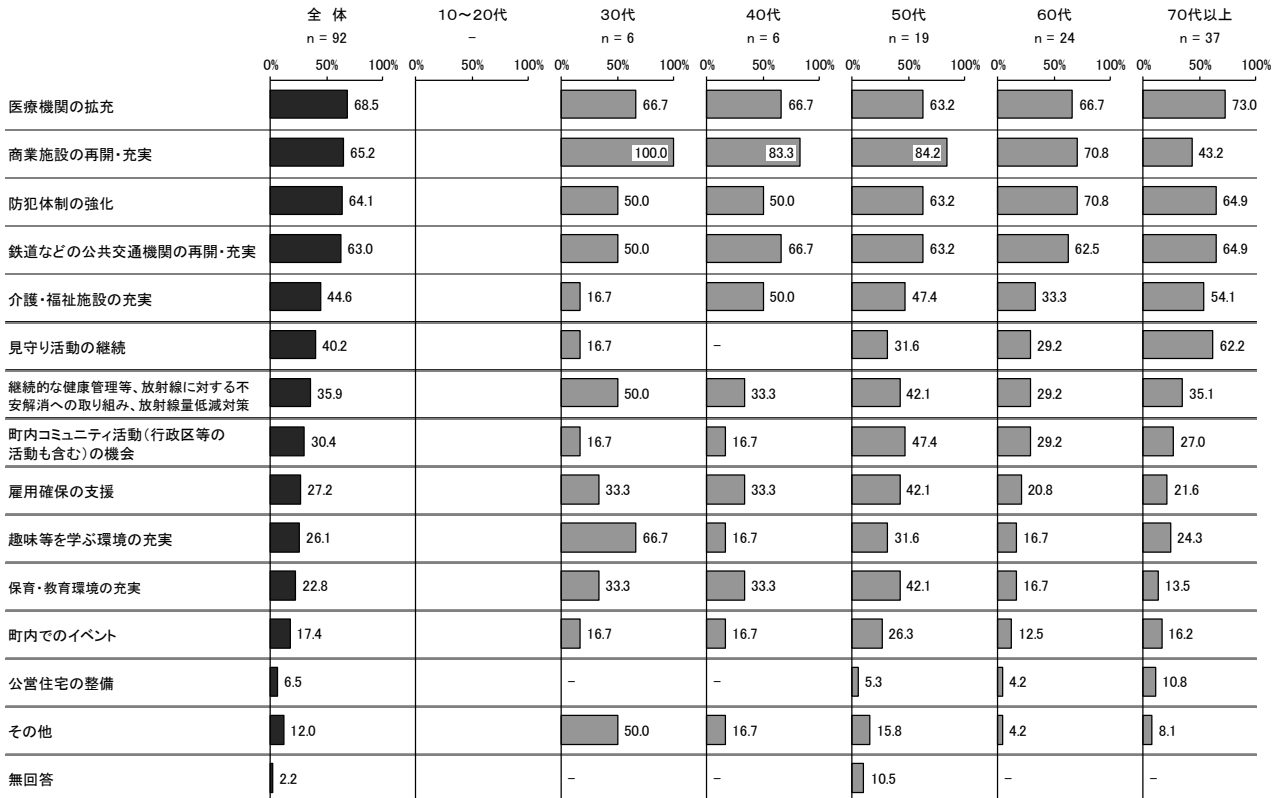
<図表3-4-2 町内での生活を決めた判断材料(年齢別)>



### 3-4-3 町内での今後の生活において、必要だと感じていること

【問 12 で「1. 既に富岡町で生活している」と回答した方にうかがいます。】  
 問 14 町内での今後の生活において、必要だと感じていることについて教えてください。(〇はいくつでも)

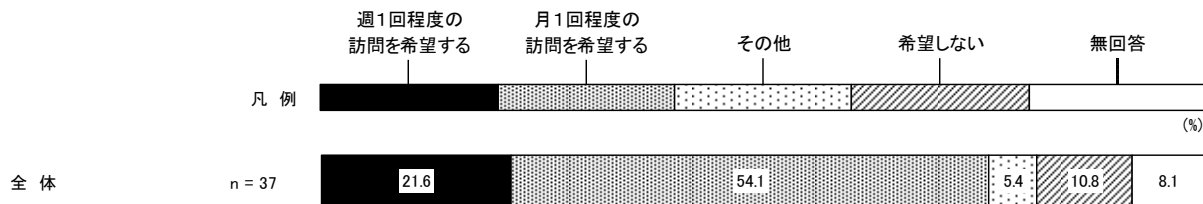
<図表3-4-3 町内での今後の生活において、必要だと感じていること(年齢別)>



### 3-4-4 見守り活動の一環として、町職員等による定期的な家庭訪問の希望

【問 14 で「13. 見守り活動の継続」と回答した方にうかがいます。】  
 問 14-1 見守り活動の一環として、町職員等による定期的な家庭訪問を希望されますか。(〇は1つ)

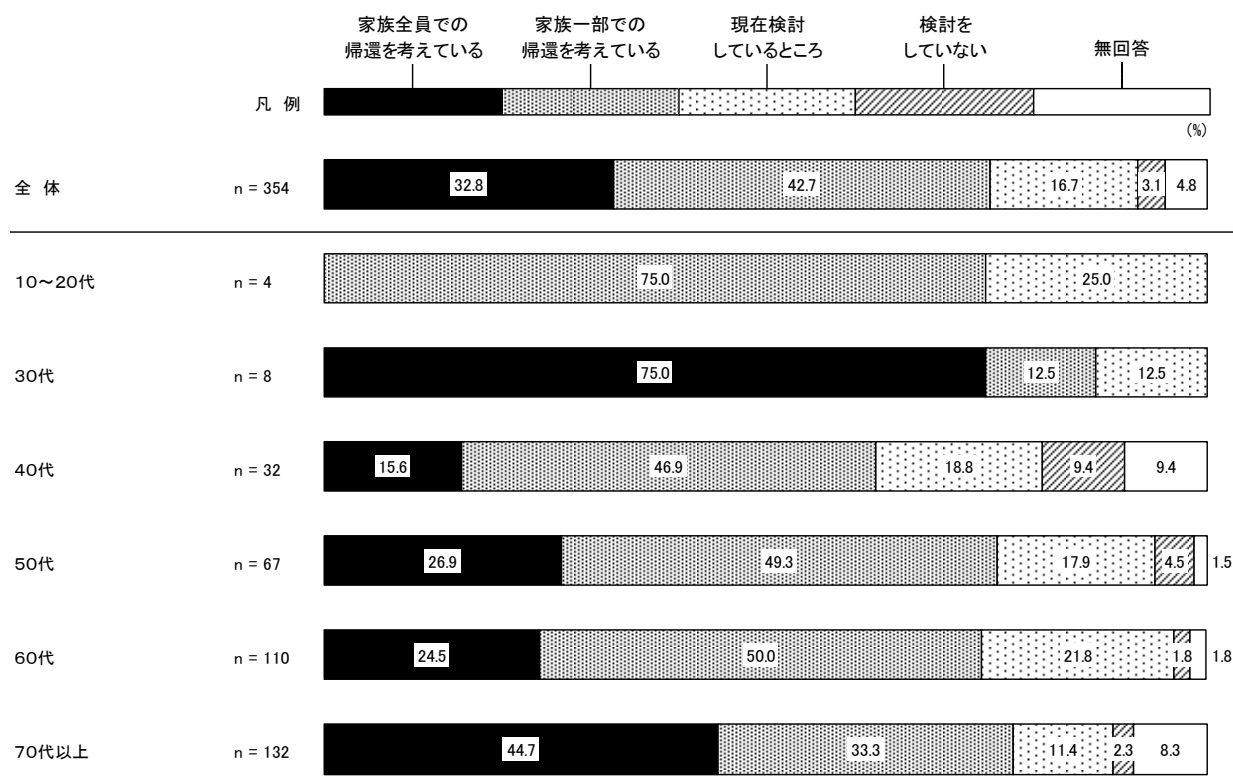
<図表3-4-4 見守り活動の一環として、町職員等による定期的な家庭訪問の希望>



### 3-4-5 富岡町へ戻る場合の家族

【問 12 で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。  
問 15 戻る場合に家族の全員か一部かについて教えてください。（〇は1つ）

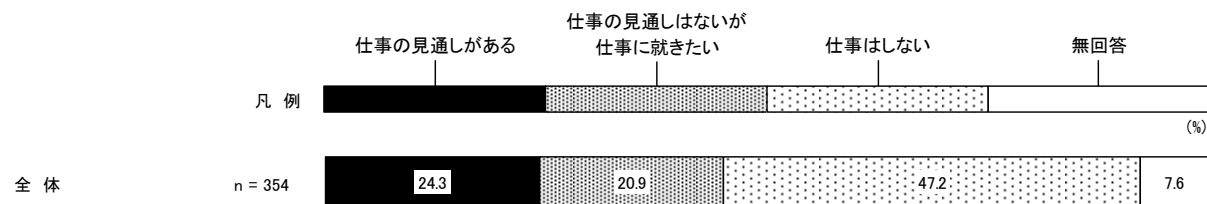
<図表3-4-5 富岡町へ戻る場合の家族（年齢別）>



### 3-4-6 富岡町へ帰還した場合の仕事の見通し

【問 12 で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。  
問 16 帰還した場合の仕事の見通しはありますか。（〇は1つ）

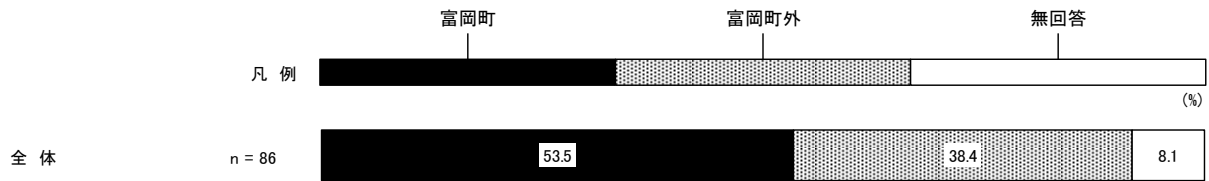
<図表3-4-6 富岡町へ帰還した場合の仕事の見通し>



### 3-4-7 富岡町へ帰還した場合に見通しが立っている仕事の場所

【問 16で「1. 仕事の見通しがある」と回答した方にうかがいます。】  
 問 16-1 見通しがたっている仕事の場所（勤務先）はどこですか。（〇は1つ）

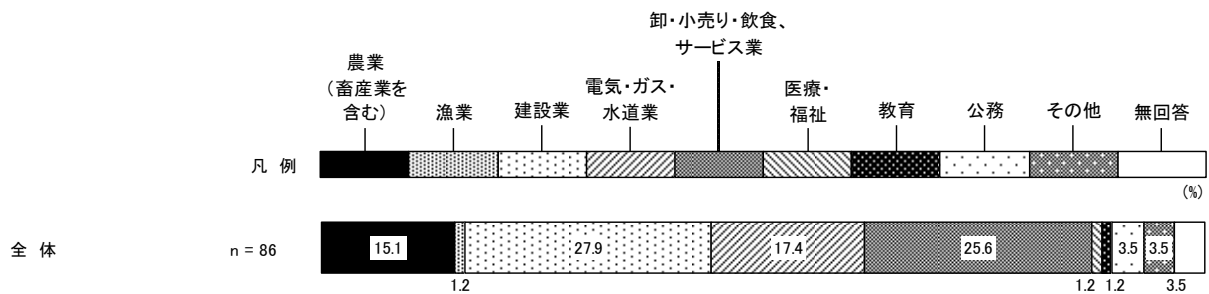
<図表3-4-7 富岡町へ帰還した場合に見通しが立っている仕事の場所>



### 3-4-8 富岡町へ帰還した場合に見通しが立っている仕事の業種

【問 16で「1. 仕事の見通しがある」と回答した方にうかがいます。】  
 問 16-2 見通しがたっている仕事の業種を教えてください。（〇は1つ）

<図表3-4-8 富岡町へ帰還した場合に見通しが立っている仕事の業種>



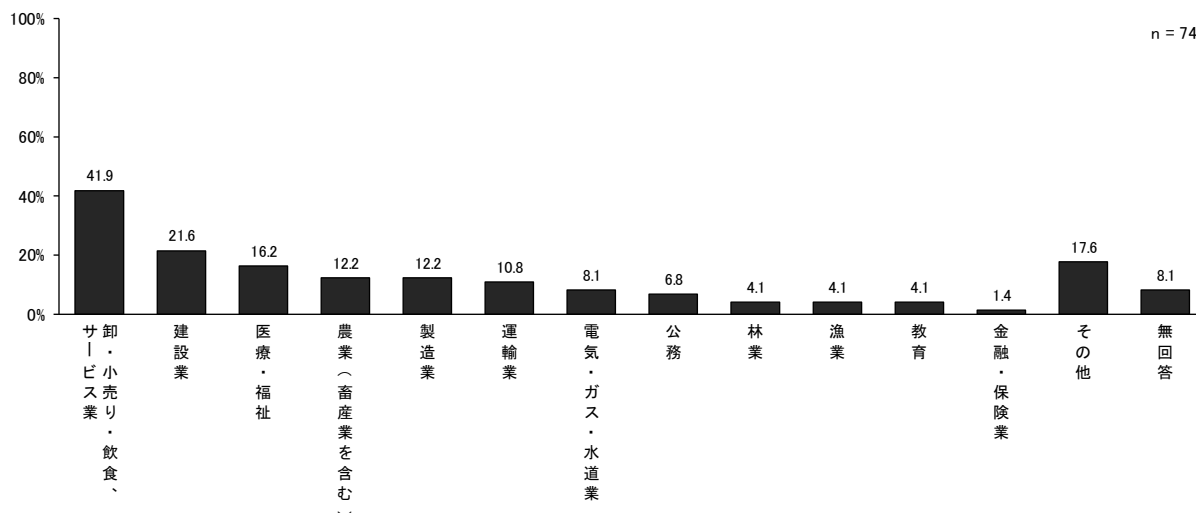
〔その他の内訳〕

- 林業 -
- 製造業 -
- 運輸業 -
- 金融・保険業 -
- その他 3.5%

### 3-4-9 富岡町へ帰還した場合に就業を希望する仕事の業種

【問 16 で「2. 仕事の見通しはないが仕事に就きたい」と回答した方にうかがいます。】  
 問 17 仕事に就く場合、どのような業種を希望しますか。(〇はいくつでも)

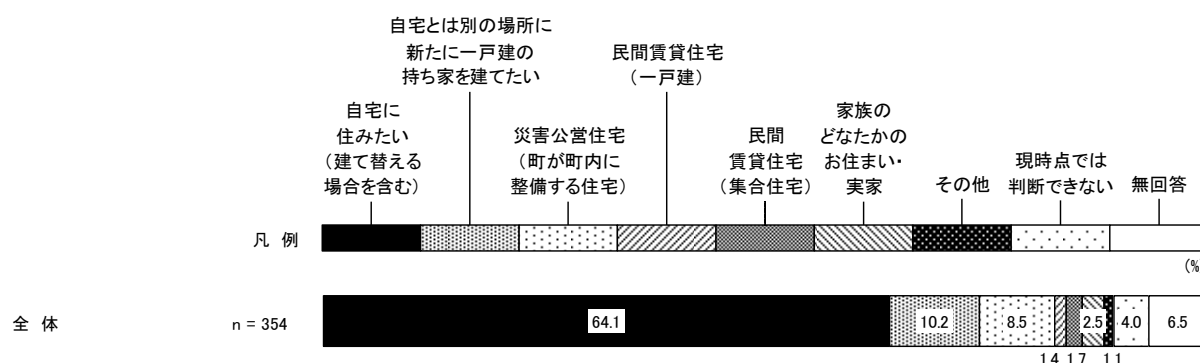
<図表3-4-9 富岡町へ帰還した場合に就業を希望する仕事の業種>



### 3-4-10 富岡町へ帰還する場合に希望する住居形態

【問 12 で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。】  
 問 18 帰還した場合のお住まいは、どのような形態を希望しますか。(〇は1つ)

<図表3-4-10 富岡町へ帰還する場合に希望する住居形態>



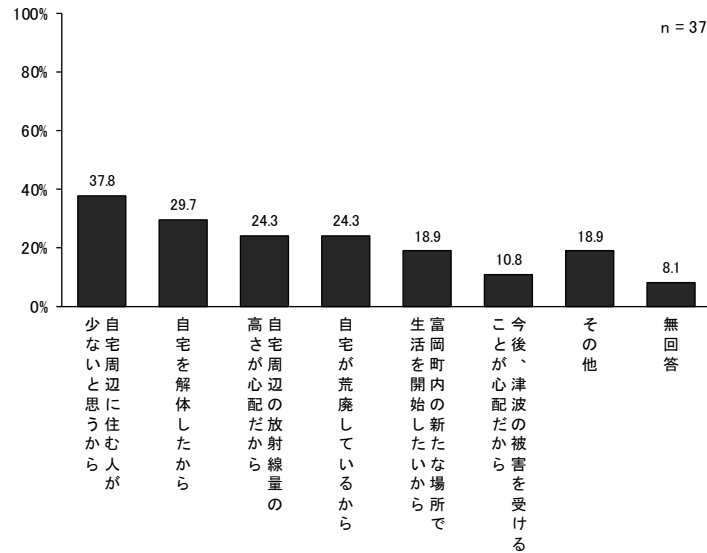
〔その他の内訳〕

自宅とは別の場所に分譲集合住宅を購入したい	0.3%
給与住宅（社宅など）	0.3%
親戚・知人宅	-
その他	0.6%

### 3-4-11 富岡町へ帰還する場合に元の持ち家以外を希望する理由

【問 18 で「2」「3」と回答した方にうかがいます。】  
 問 18-1 元の持ち家以外を希望される理由は何ですか。(〇はいくつでも)

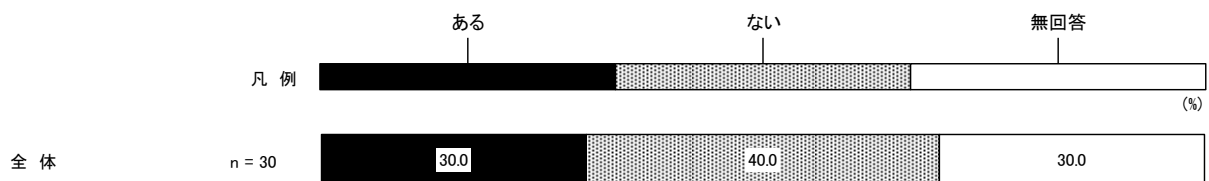
<図表3-4-11 富岡町へ帰還する場合に元の持ち家以外を希望する理由>



### 3-4-12 町内における災害公営住宅建設希望地の有無

【問 18 で「4」と回答した方にうかがいます。】  
 問 18-2 居住地域の希望はありますか。(〇は1つ)

<図表3-4-12 町内における災害公営住宅建設希望地の有無>



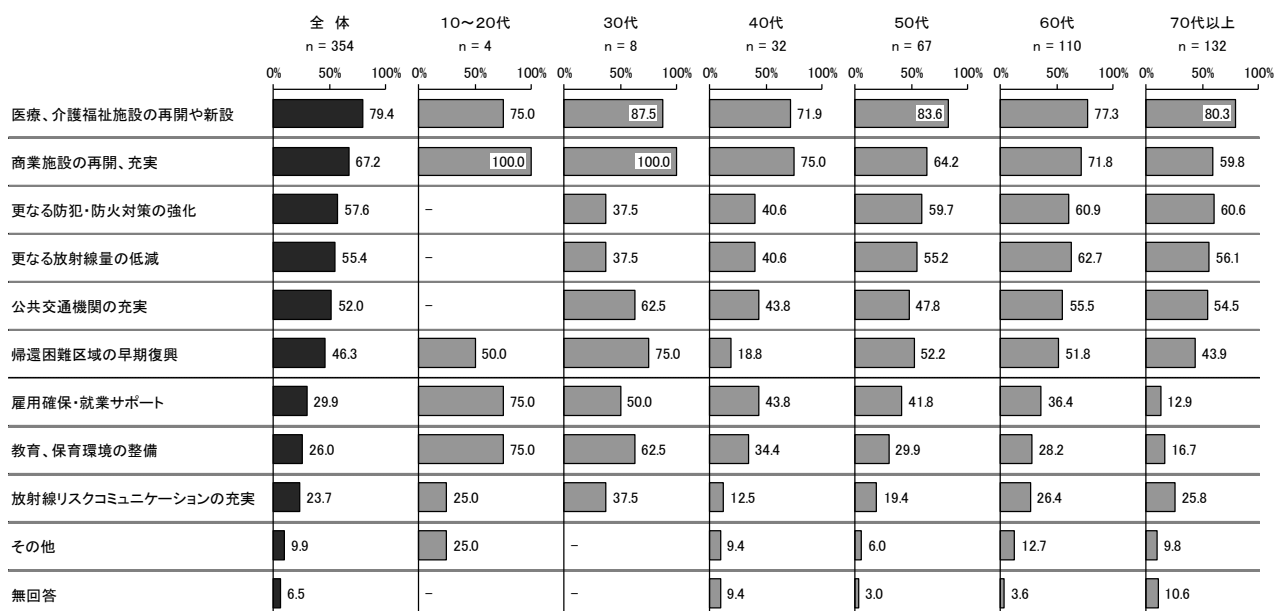
〔居住地域の希望がある場合の具体的な行政区名（複数回答可）〕

- 栄町 4 件
- 中央 3 件
- 小浜 1 件
- 小良ヶ浜 1 件

### 3-4-13 富岡町へ戻る場合に必要と考える施策

【問 12 で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。  
問 19 富岡町に戻る場合に、どのような施策が必要と考えますか。（〇はいくつでも）

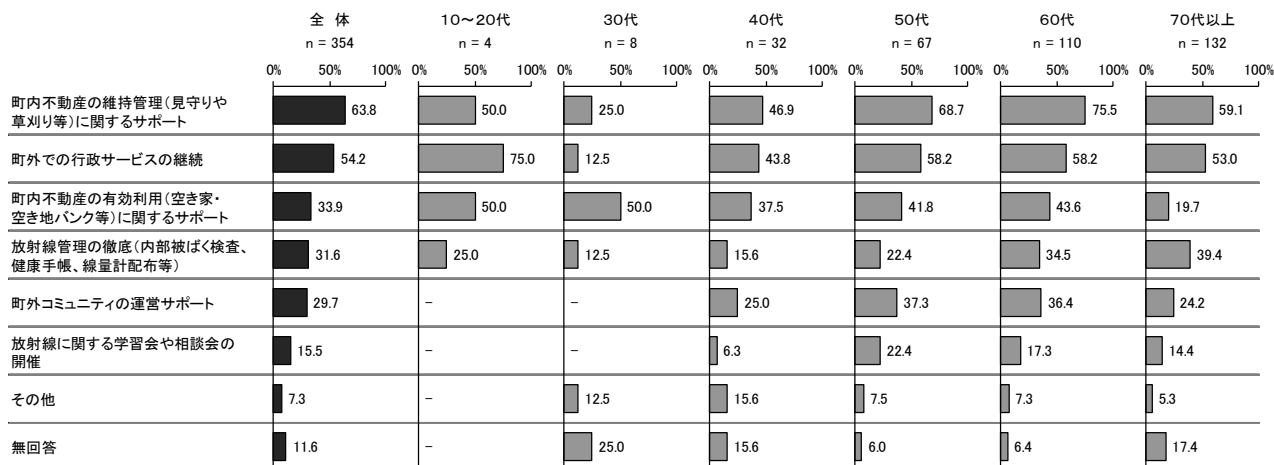
＜図表3-4-13 富岡町へ戻る場合に必要と考える施策（年齢別）＞



### 3-4-14 富岡町へ戻るまでに必要と考える施策

【問 12 で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。  
問 20 富岡町に戻るまで（避難生活を継続している期間）に、どのような施策が必要と考えますか。（〇はいくつでも）

＜図表3-4-14 富岡町へ戻るまでに必要と考える施策（年齢別）＞

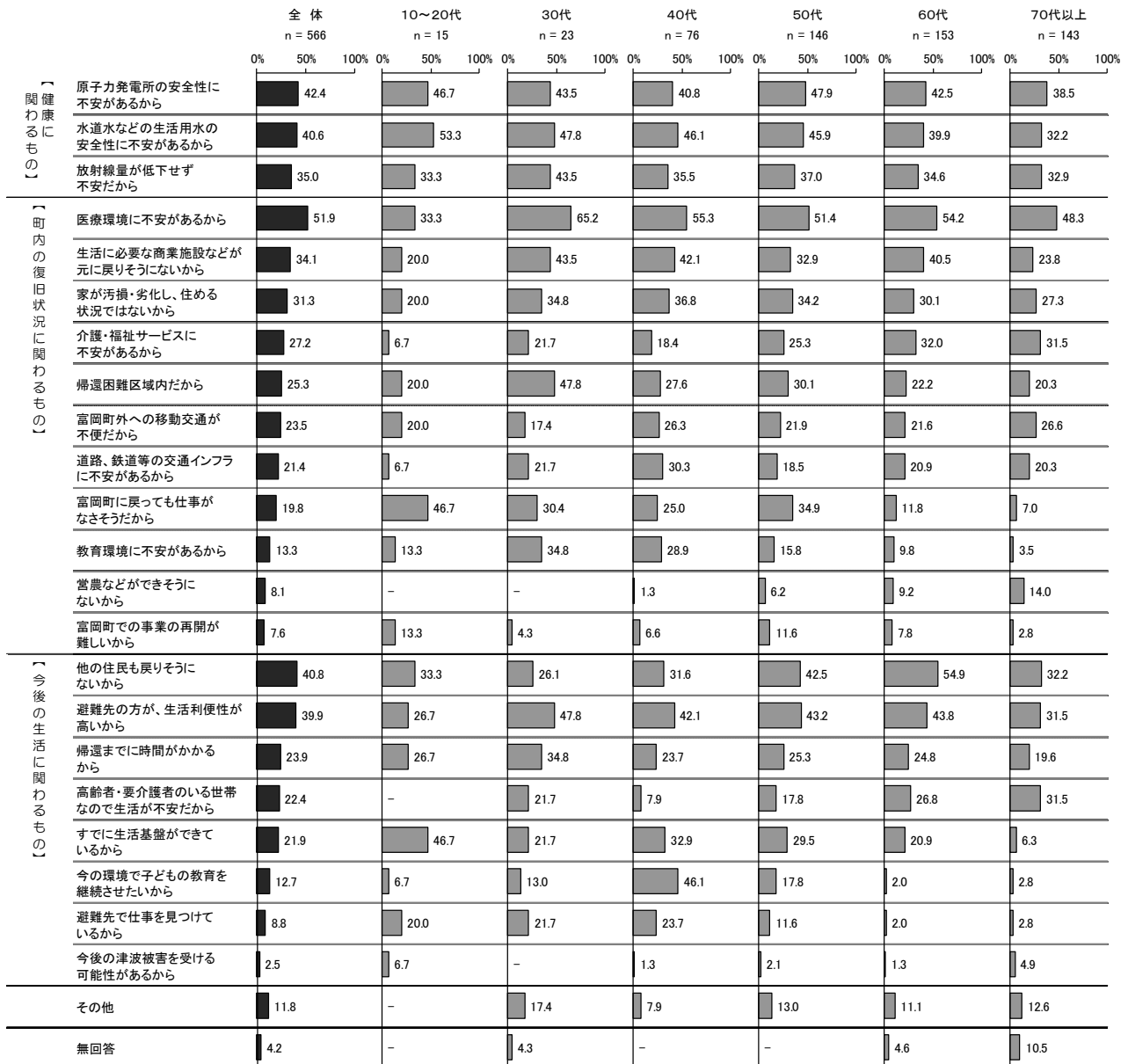


### 3-4-15 富岡町への帰還の判断がつかない理由

【問 12 で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問 21 富岡町への帰還について、「まだ判断がつかない」理由を教えてください。(〇はいくつでも)

＜図表3-4-15 富岡町への帰還の判断がつかない理由(年齢別)＞

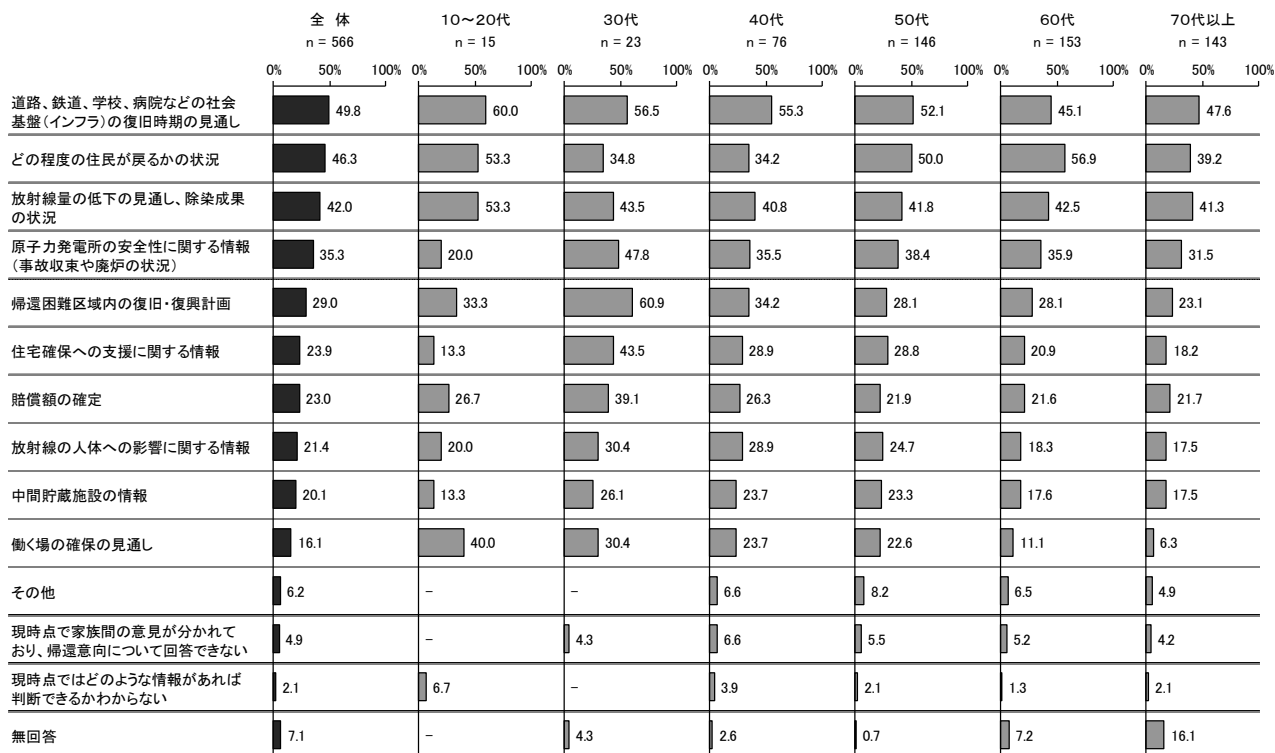




### 3-4-16 富岡町への帰還を判断する上で必要と思う情報

【問 12 で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】  
 問 22 富岡町へ戻ることを判断するために必要なことを教えてください。(〇はいくつでも)

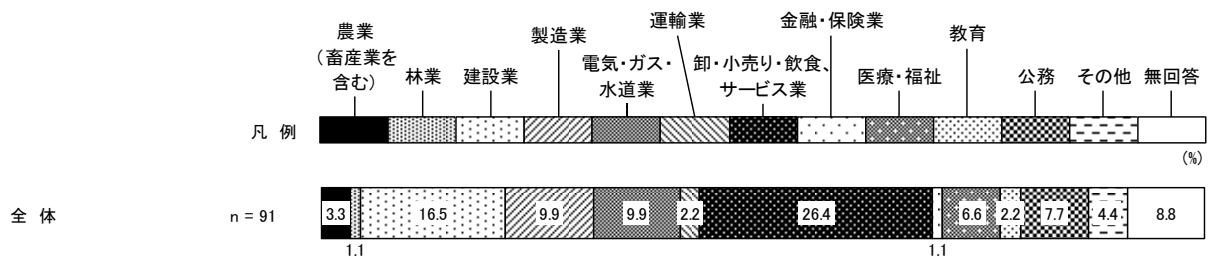
<図表3-4-16 富岡町への帰還を判断する上で必要と思う情報(年齢別)>



### 3-4-17 富岡町へ戻った場合に希望する仕事の業種

【問 22 で「7. 働く場の確保の見通し」と回答した方にうかがいます】  
 問 22-1 どのような業種の仕事を希望しますか。(〇は1つ)

<図表3-4-17 富岡町へ戻った場合に希望する仕事の業種>

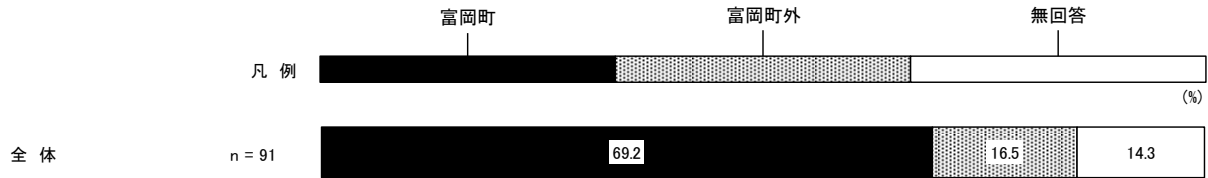


〔その他の内訳〕  
 漁業 -  
 その他 4.4%

### 3-4-18 富岡町へ戻った場合に希望する仕事の場所

【問 22 で「7. 働く場の確保の見通し」と回答した方にうかがいます】  
 問 22-2 仕事の場所（勤務先）はどこを希望しますか。（〇は1つ）

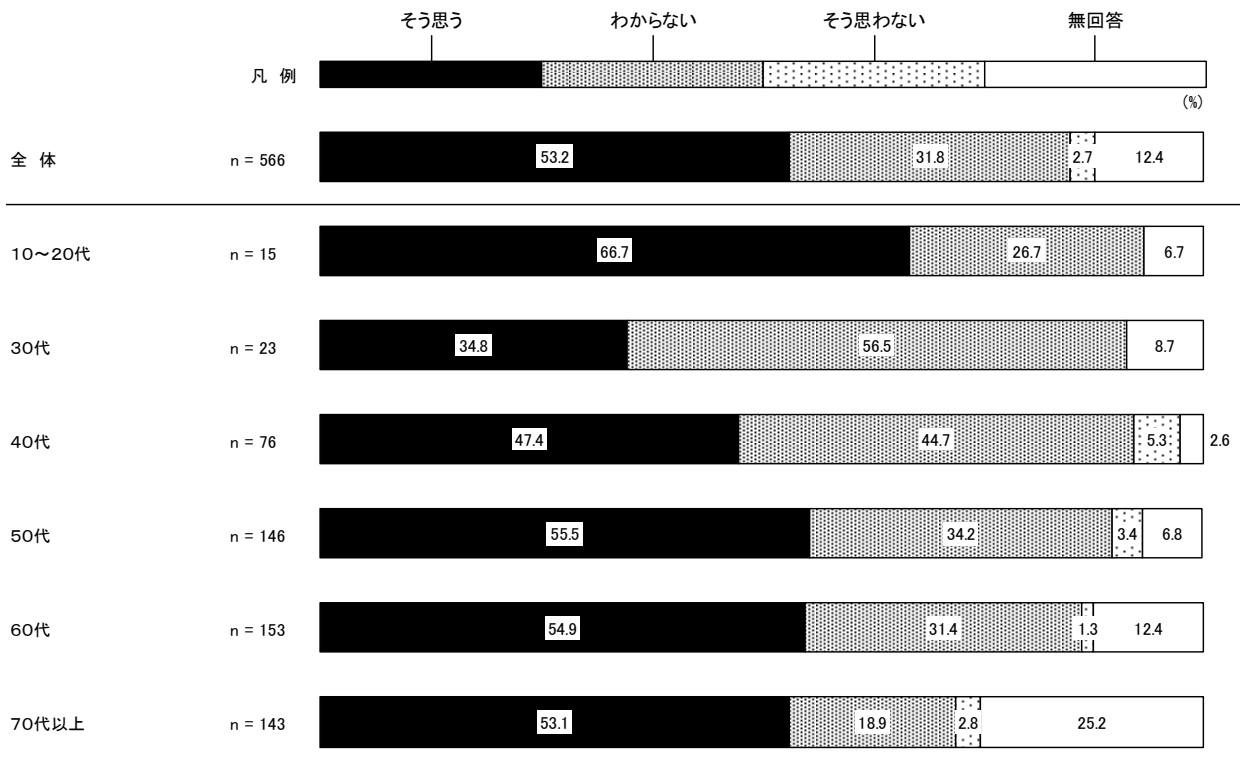
<図表3-4-18 富岡町へ戻った場合に希望する仕事の場所>



### 3-4-19 帰還の判断がつかない場合に富岡町との“つながり”を保ちたいか

【問 12 で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】  
 問 23 富岡町との“つながり”を保ちたいと思いますか。（〇は1つ）

<図表3-4-19 帰還の判断がつかない場合に富岡町との“つながり”を保ちたいか（年齢別）>

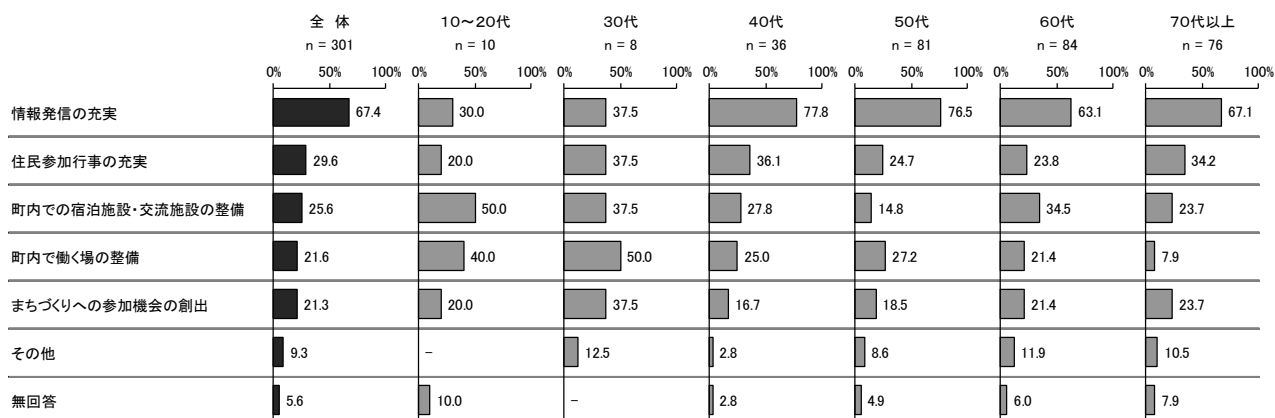


### 3-4-20 帰還の判断がつかない場合に富岡町との“つながり”を保つために必要な施策

【問 23 で「1. そう思う」と回答した方にうかがいます。】

問 23-1 町との“つながり”を保つためにどのような施策が必要と考えますか。(〇はいくつでも)

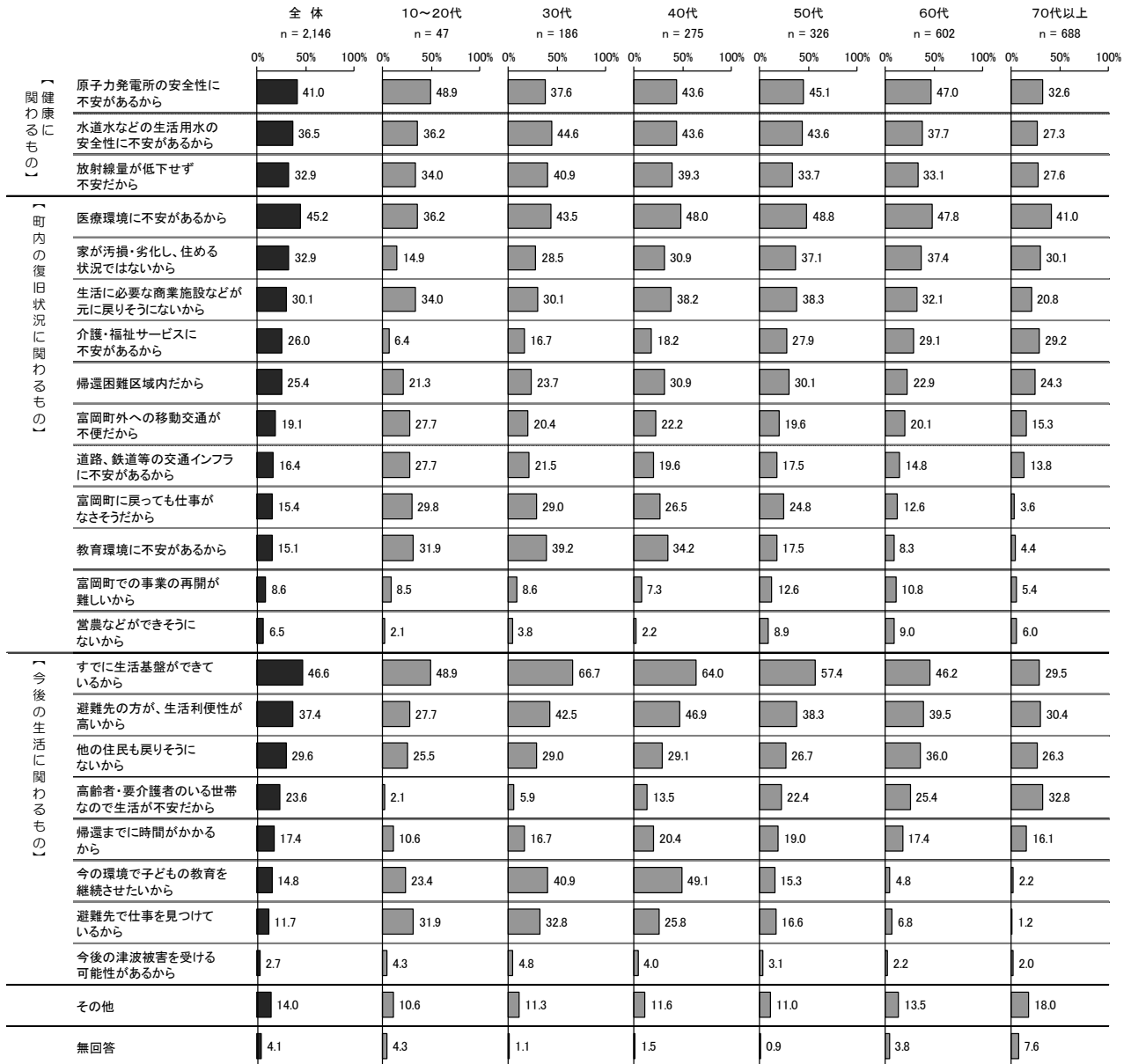
<図表 3-4-20 帰還の判断がつかない場合に富岡町との“つながり”を保つために必要な施策（年齢別）>



### 3-4-21 富岡町へ帰還しない理由

【問 12 で「4. 戻りたいが、戻ることができない」、「5. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】  
 問 24 富岡町への帰還について、「戻ることができない」、または、「戻らない」理由を教えてください。  
 (〇はいくつでも)

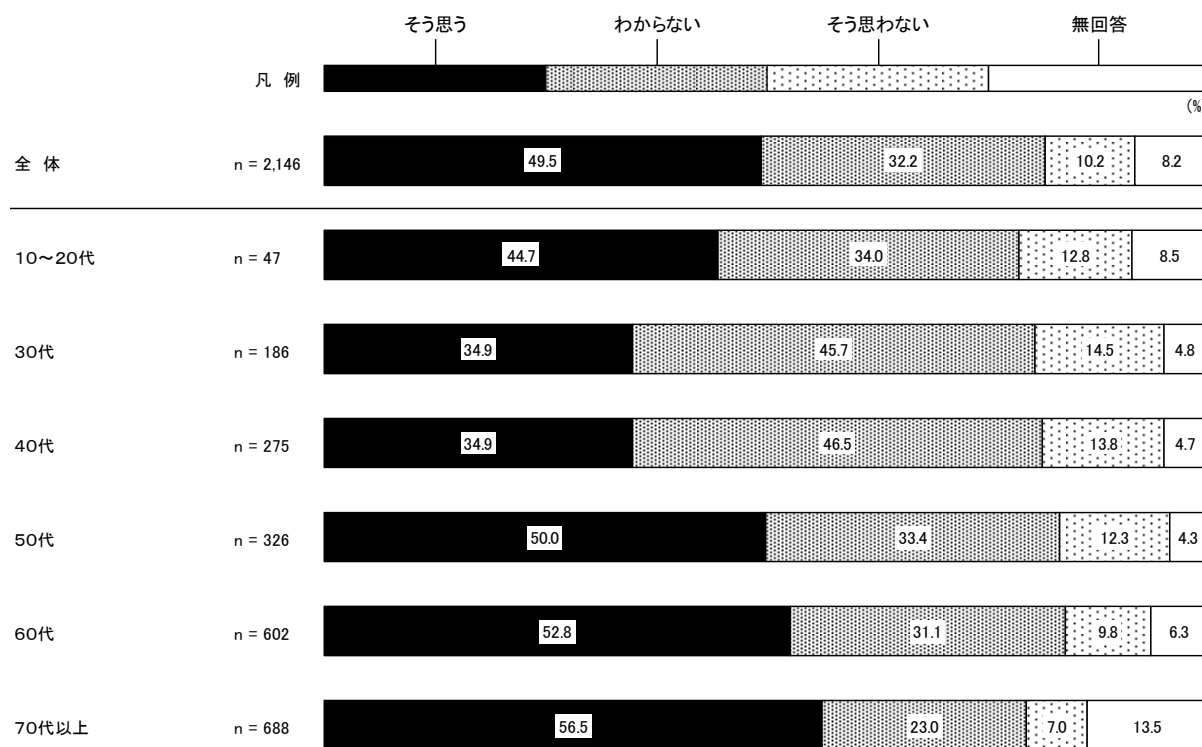
<図表 3-4-21 富岡町へ帰還しない理由 (年齢別)>



### 3-4-22 帰還しない場合に富岡町との“つながり”を保ちたいか

【問 12 で「4. 戻りたいが、戻ることができない」、「5. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】  
 問 25 富岡町との“つながり”を保ちたいと思いますか。(〇は1つ)

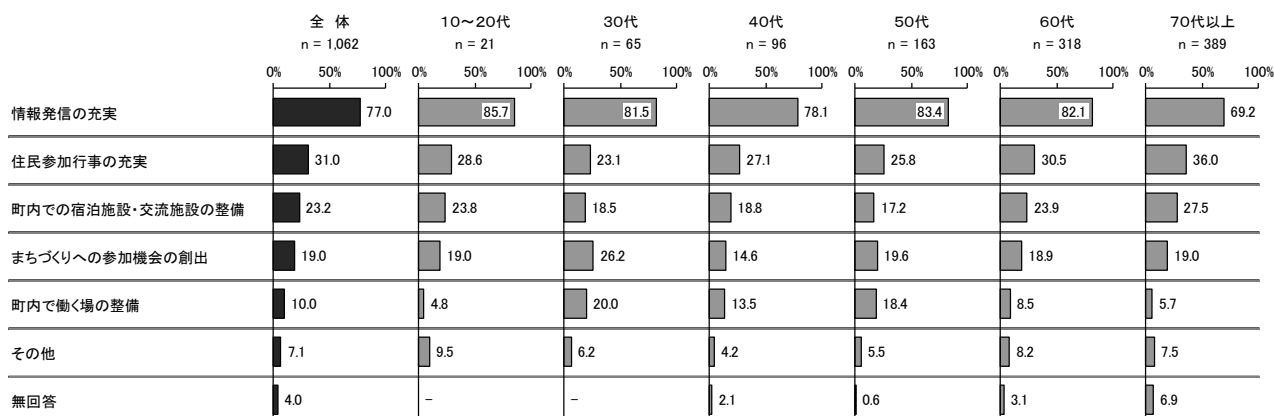
<図表3-4-22 帰還しない場合に富岡町との“つながり”を保ちたいか(年齢別)>



### 3-4-23 帰還しない場合に富岡町との“つながり”を保つために必要な施策

【問 25 で「1. そう思う」と回答した方にうかがいます。】  
 問 25-1 町との“つながり”を保つためにどのような施策が必要と考えますか。(〇はいくつでも)

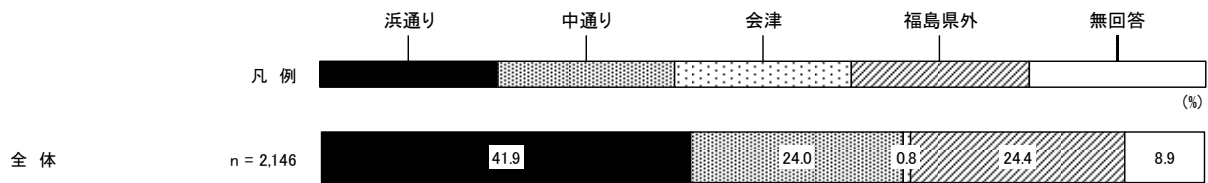
<図表3-4-23 帰還しない場合に富岡町との“つながり”を保つために必要な施策(年齢別)>



### 3-4-24 帰還しない場合に居住を希望する地域

【問 12 で「4. 戻りたいが、戻ることができない」、「5. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】  
 問 26 帰還しない場合に、今後、居住を希望する（既に居住している場合を含む）地域はどちらですか。（〇は1つ）

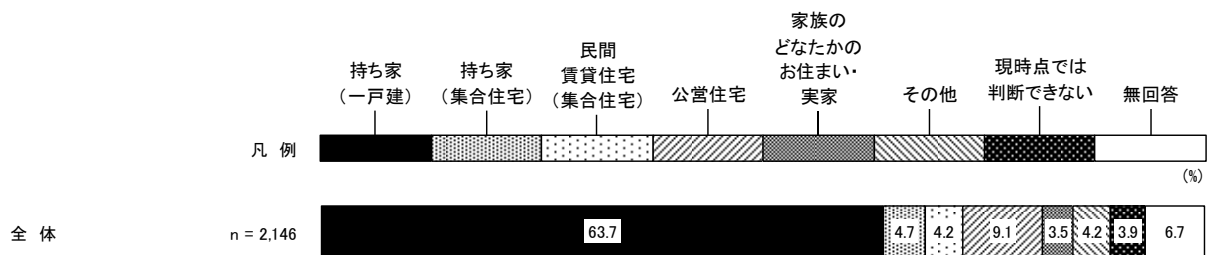
<図表3-4-24 帰還しない場合に居住を希望する地域>



### 3-4-25 帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態

【問 12 で「4. 戻りたいが、戻ることができない」、「5. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】  
 問 27 今後のお住まいとして、希望する（既に居住している場合を含む）住宅はどのような形態ですか。（〇は1つ）

<図表3-4-25 帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態>



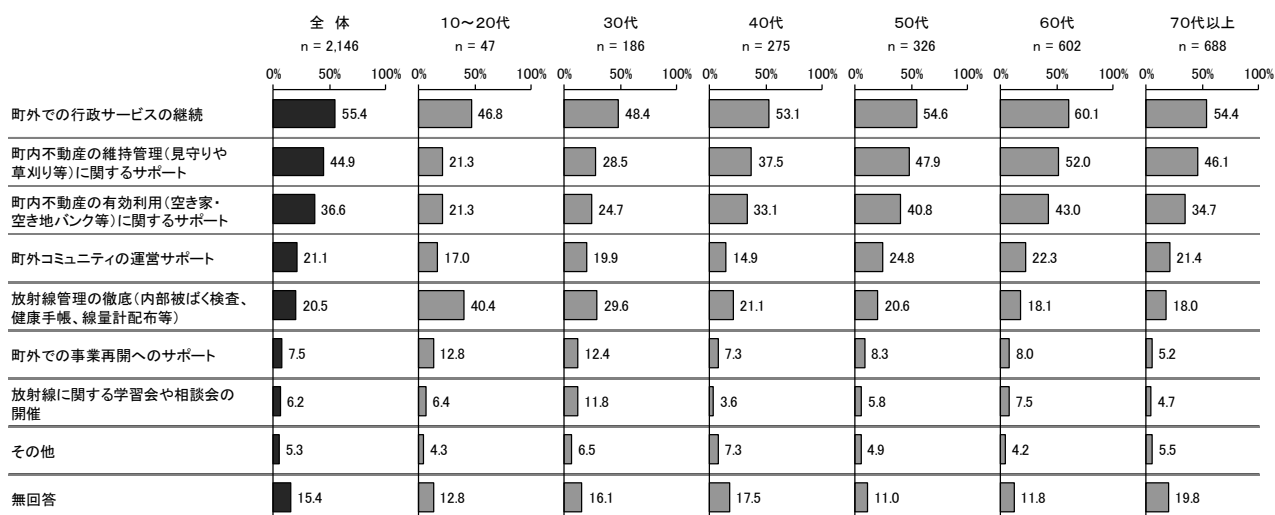
〔その他の内訳〕

民間賃貸住宅（一戸建）	1.0%
給与住宅（社宅、公務員宿舎など）	0.6%
親戚・知人宅	0.7%
その他	1.8%

### 3-4-26 帰還しない場合に町外で生活している方に対するサポートとして必要な施策

【問12で「4. 戻りたいが、戻ることができない」、「5. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】  
 問28 町外で生活されている方に対するサポートとして、どのような施策が必要と考えますか。(〇はいくつでも)

<図表3-4-26 帰還しない場合に町外で生活している方に対するサポートとして必要な施策(年齢別)>



### 3-5 意見・要望

問 29 町の復興に対して、日頃お感じになっているお気持ちや、今後のあなたの展望、国、県、町への要望などをご自由にお書きください。

国や自治体への要望、復興に対する展望や気持ちなどについて、1,045 世帯から回答があった。ここでは、記入された回答を下記項目に分類し、代表的なものを抜粋して掲載する。

<p>●生活について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難生活の長期化への不安</li> <li>・元の生活が取り戻せるかどうかの不安</li> <li>・元の生活、安定した生活の回復</li> <li>・元の生活に戻ることにあきらめ</li> <li>・現在の生活について</li> <li>・現在の生活の人間関係・コミュニティについて</li> <li>・現在の生活の経済的な不安について</li> <li>・現在の生活の健康に関する不安について</li> <li>・現在の生活の仕事・学業に関する不安について</li> <li>・現在の生活全般の不安について</li> <li>・将来の生活に関する考えについて</li> <li>・将来の生活の経済的な不安について</li> <li>・将来の生活の健康に関する不安について</li> <li>・将来の生活の仕事・学業に関する不安について</li> <li>・将来の生活全般の不安について</li> <li>・生活（再建）支援について</li> <li>・その他</li> </ul>	<p>●除染について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・除染作業の意義について</li> <li>・除染作業にかかる費用の他への活用について</li> <li>・除染作業の効果などについて</li> <li>・除染作業の実施箇所などについて</li> <li>・除染作業の早期・迅速・的確な実施について</li> <li>・除染作業スケジュールの明確化について</li> <li>・除染廃棄物の処理について</li> <li>・その他</li> </ul>
<p>●震災発生前の居住地について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帰還困難区域への立入りについて</li> <li>・帰還困難区域等の設定について</li> <li>・所有する住まい・土地の買取りについて</li> <li>・自宅の現状（被害状況）について</li> <li>・自宅の再建・改築・解体について</li> <li>・元の住居や土地などの管理・処分について</li> <li>・元の住居や土地に対する税について</li> <li>・所有する墓地の維持・管理・移転について</li> <li>・その他</li> </ul>	<p>●復旧・復興について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・復旧・復興の遅れ、長期化について</li> <li>・復旧・復興のスケジュールについて</li> <li>・復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について</li> <li>・町村合併について</li> <li>・ライフライン・インフラの整備について</li> <li>・社会福祉施設の整備について</li> <li>・医療施設の復興・充実について</li> <li>・学校の復興・充実について</li> <li>・商業の復興・充実について</li> <li>・住民の参加・自助努力について</li> <li>・早期の現状回復・復興実現について</li> <li>・その他</li> </ul>
<p>●賠償について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・賠償内容・方法について</li> <li>・賠償の取り組みの迅速化、方針やスケジュールの明確化について</li> <li>・所有する住まい・土地に対する賠償全般について</li> <li>・その他</li> </ul>	<p>●原発の安全性について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃炉作業の迅速な実施について</li> <li>・廃炉作業全般について</li> <li>・その他</li> </ul>
<p>●帰還について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帰還への不安</li> <li>・帰還可能時期の明確化について</li> <li>・帰還したい</li> <li>・帰還しない</li> <li>・現時点では帰還の判断ができない</li> <li>・帰還に関する施策について</li> <li>・帰還を望まない人への対応について</li> <li>・その他</li> </ul>	<p>●原発事故に対する対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政や東電の対応について</li> <li>・対応の長期化、遅れについて</li> <li>・情報の開示・発信について</li> <li>・その他</li> </ul>
<p>●避難期間中及び将来の住宅について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・復興公営住宅の早期・迅速な建設について</li> <li>・復興公営住宅の建設地・形態等について</li> <li>・復興公営住宅に係る経済的負担について</li> <li>・復興公営住宅への入居について</li> <li>・居住場所の確保について</li> <li>・借上げ住宅について</li> <li>・住宅の購入について</li> <li>・その他</li> </ul>	<p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後のエネルギー政策について</li> <li>・行政に対する謝意、励まし</li> <li>・その他</li> </ul>

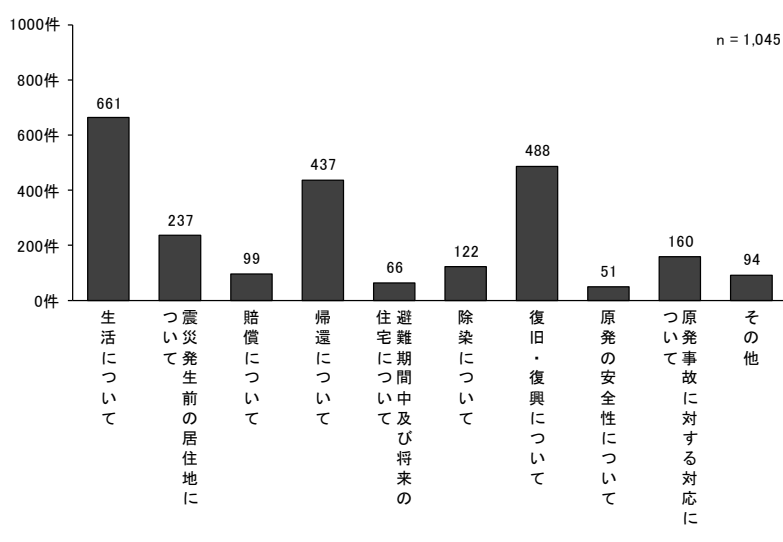
※掲載する文章は原文を基本とするが、固有名詞が含まれている場合や長文の場合などは、一部省略している。

※一世帯の回答の内容が、複数のテーマにわたる場合は、それぞれの項目へ分類している。



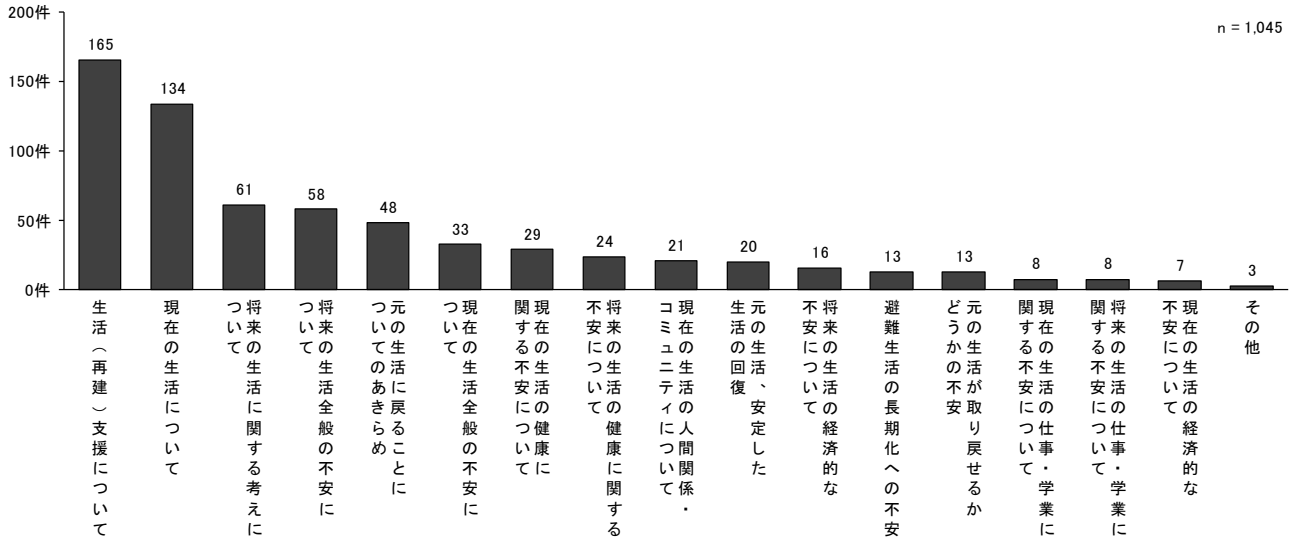
### 3-5-1 意見に係る記入内容の分類結果

<図表3-5-1 意見に係る記入内容の分類結果>



### 3-5-2 生活について

＜図表3-5-2 生活についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### 【生活（再建）支援について】

- ・復興に向けて動かれていると思いますが、町民の帰還が進んでいないように感じます。「安全」だからと言うことで帰還となりましたが、本当に安全であるのかに対して疑問は常にあります。現在の生活を捨ててまで富岡町に帰るつもりはありませんが、町外にいたとしても役所などの行政サービスは受け続けることができればと思います。（10～20代）
- ・子供の放射線の影響への不安、現在の就学の状況を考えると、すぐに町内へ戻る事はできない。子供の就学に一定の区切りがつくまでは、高速の無料措置、公営住宅の仮設住宅扱いでの居宅の維持を続けてほしい。（40代）
- ・自宅は帰還困難区域内にあるので、今後も戻ることは考えられない。現在、住民票は富岡町のままであるが、今後、国民健康保険料の免除や固定資産税の免除、住民税の軽減などがなくなれば、住民票は現在住んでいる市へ移す予定。（60代）

#### 【現在の生活について】

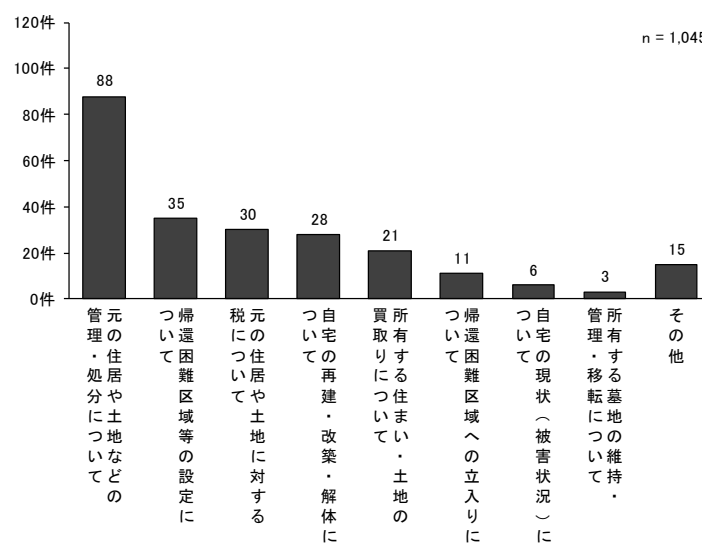
- ・段々復興しているが、今は結婚し、家も建て、生活基礎ができており、これから子供を産み子育てしていくと考えると、まだすぐに帰還する事は考えられませんが、とてもいい場所ととてもいい環境で好きな地元だったため、将来的に何らかの形で、また富岡に家を建てたり（子供にあげたりなど）、つながりは持ち続けたいです。前よりももっとよりいい町、発展した地域になり、住みやすくなれば将来的にもいいと思います。現在郡山に住んでいるので、もっとそのアクセスがよくなればうれしいと思います。（10～20代）
- ・富岡町へ行くと多くの方の力によって、新しい富岡に変わろうと感じます。皆様のお陰で楽しく生活できていること、これからの事も子供達と家族で話していきたいと思ひます。意外だったのが、富岡町民ではなくなったことを子供達に話したら、「寂しい」と言ったこと。まだ2才と4才でしたので何も記憶もないと思っていましたが、嬉しい成長だと思ひます。皆様のご活躍に感謝しています。ご健勝をお祈りいたします。（40代）
- ・一日も早く帰りたいと思ひます。公営住宅では気が落ち着かないです。何年も過ごした家は良いです。富岡に行くとはっとします。（70代以上）

【将来の生活に関する考えについて】

- 津波で流されてしまった富岡駅も建設が始まり、商業施設も営業が始まったようで、少しでも元の町らしくなっているのが嬉しい。自宅はまだ帰還困難区域でいつ解除されるか分からないが、絶対にまた住みたいと思っている。(10～20代)
- 帰りたい気持ちがあるが、周りが帰ってきていないし、子供の学校のこともあるのですぐには戻れないが、数年後には帰りたい。その時までに、もう少し住みやすい環境になっていたらと願います。(40代)
- 若い人が戻れる様な環境作りを一日でも早く作って、住民が安心して暮らせる様にしてもらいたい。私はもうこちらで生活しているので、この後戻るのは春と秋のお彼岸くらいしかありません。寂しいですが、これが今の現実として受けとめるしかないと思っています。(60代)

### 3-5-3 震災発生前の居住地について

＜図表3-5-3 震災発生前の居住地についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### [元の住居や土地などの管理・処分について]

- 震災当時のアパートの家具の処分について悩んでいます。いつかは富岡に行き、アパートの家具処分、退去しなければならないと思っているのですが、県外に現在暮らしていますので、中々実現できていません。処理代金等々考えるだけでも、高額な費用がかかることが目に見えていて、実現できないということもあるからです。このような個人的な内容に対しては自治体からサポートというのは当然無理なことは分かっていますが、どうしたらいいものか、何かいい方法はありますか。(30代)
- 町内不動産の有効利用に関するサポートを、積極的に発信してほしい。県外にいると情報が乏しい。どうしてよいかわからない。(40代)
- 営農を再開する前段として、現在農地の保全管理を実施していますが、個人あたりの実施面積が多いため、農機具等の消耗が激しいのが実情です。農機具を購入及び交換する時の補助が保全管理作業のためだと対象外となっているが、営農に入ると対象となるが、現在は営農へ移行する重要な作業ですので、何とか保全管理作業でも補助の対象となる様強く希望します。(60代)

#### [帰還困難区域等の設定について]

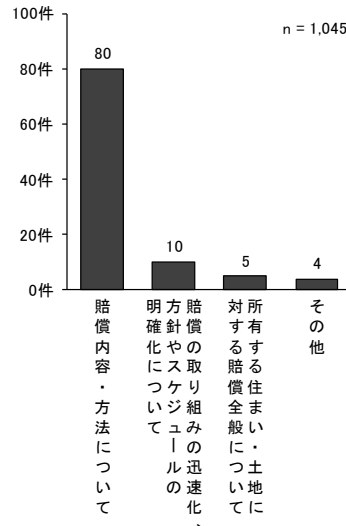
- 富岡町へはすっかり行かなくなった。戻らないのではなく、家もないので戻れないのです。新しく建てた家に住んでいるので、元の家はもう朽ちてひどいです。帰還困難区域の今後はどうなるのでしょうか。(30代)
- 帰還困難区域としての先の見通しと、今後の方向性をはっきりして頂きたい。家屋の解体や不動産の方向性もあるので。(40代)
- 放射性廃棄物処理場などは、帰還困難区域、居住制限区域に設置して、早目にケリをつけた方が良いと思う。他地域や他県に場所を求めても無理だと思う。区域の編成により、解除となっても意味がわからない。それより処理場に変えるべき。(50代)

【元の住居や土地に対する税について】

- ほとんどの家が、将来壊さなくてはいけない状況になってくると思うので、残った土地への税が心配。今住んでいる所の固定資産税と、富岡町の土地の両方の税など払っていけない。どうしていいかわからない。住民の立場になってもっともっと考えてもらいたい。(40代)
- 町外に家を建てたので、これから先、富岡町にある不動産をどうしたらいいかわからない。子供達には、負の遺産を残したくありません。これから先帰還困難区域も解除されたら、固定資産税を払えなくなるのではないかと不安です。(50代)
- 固定資産に対する管理が、現在居住しているところから遠方のため困難であるので、運用を含めて相談する機関があれば良いと思う。(60代)

### 3-5-4 賠償について

＜図表3-5-4 賠償についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### 【賠償内容・方法について】

- ・富岡町の自分の家の前が帰還困難区域なのに、解除されているのに納得がいけない。国、町の考えがわからない。帰還困難区域との賠償額に差がありすぎる。(10～20代)
- ・帰還困難区域や家族の多い所は賠償がたくさん出ているが、2世帯住宅で家族の少ない所は賠償も少なく、家を修理する事もできず、戻れないでいる。(40代)
- ・町や東京電力の賠償を、帰還できるまでもっと長く続けてほしい。まだ帰れない又は一部の人しか帰らないのに、大きな商業施設を作っても続かないと思います。お医者さんも経営が成り立たないと思います。早く池の底の泥を取り除いて、きれいな水を飲みたい。原発の水のタンクの処理、黒い袋の放射能の処理が2020年以後になるのに賠償の打ち切りが早く、町に帰ってほしいはおかしいと思う。ここで事故が起きると、ますます大変になると思う(60代)

#### 【賠償の取り組みの迅速化、方針やスケジュールの明確化について】

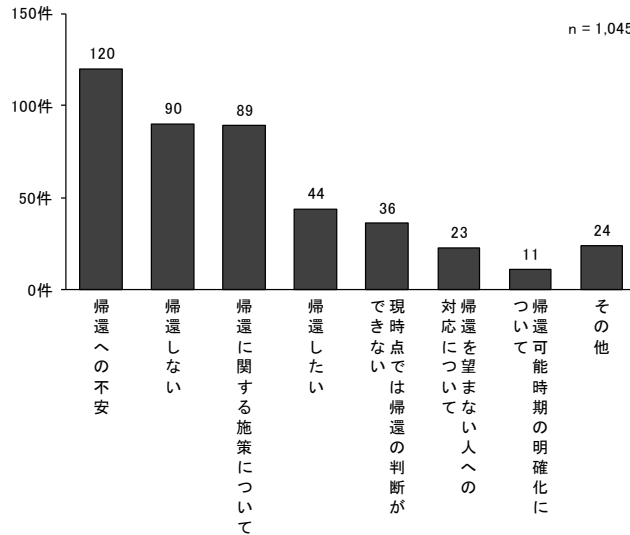
- ・放射線の絶対的な安全性のない中での帰還を勧める富岡町に対して、不安を感じています。賠償金の件も富岡町に不動産を所有していた人と、そうでない人との開きが大きいのが不満です。帰還の安全性を保証できないならば、早目に賠償をしてもらわないと、惰性で残りの人生を過ごすことになってしまいそうです。(40代)
- ・今年初め「原賠審」から土地の価格金額の上積が決まり、東電への指示がなされましたが、東電は賠償額の支払いが終っている人には、追加の土地賠償はしないと返答がありました。その東電の回答には納得出来ません。なぜならローンの返済があるから。(60代)
- ・帰還困難区域にあるこれからの賠償はどうか、はっきり知りたい。(70代以上)

[所有する住まい・土地に対する賠償全般について]

- 富岡町で解除になっている地域では、戻らなくても固定資産税等がかかってくることに不安があります。我家はまだ帰還困難区域になっていますが、縮小されていけば…。売りに出したところで売れるのか？売りに出す人が増えれば、元々の富岡の町民が減っていく。ほとんどの人が避難先で生活の基盤が出来ていると思うので、別荘感覚で利用出来るといいと思います。やっぱりふるさととは富岡町なので、避難先に住居を取得しても、富岡の住居の修理、建替にも補助を出してもらえたら、行き来できるのかなと思ったりします。(40代)
- 富岡町にある土地及び建物の固定資産税を、戻らない人に対しては免除または賠償等の対策を考えて欲しい。(40代)
- 土地は震災前の実勢価格で、国が買い上げてほしい。住宅解体後の土地の維持管理については、遠くに避難している者にとっては難しい。今度、環境省で樹木の伐採、石等の除去を申請があれば行うことになったようであるが、良いことだと思っている。継続して実施してほしい。(70代以上)

### 3-5-5 帰還について

＜図表3-5-5 帰還についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### 【帰還への不安】

- ・復興という言葉だけが一人歩きしているように思う。いわき市内のスーパーでは、福島県内の人でさえ他県の食物を選んで買っているという事実や、私たちの中にある「不安」そのものがなくならないかぎり、無理なのではないかと感じる。生活基盤ができつつある中で、戻るといふ決断は難しいように思う。(30代)
- ・新築したばかりの家があるため、帰ることにした。その判断が正しいのかどうかはわからない。母が帰りたがっていることと、家を壊すのが忍びないからだ。しかし帰っても周りに人はいないし、夜は寂しいし、母の病院があるのかどうか不安であるし、買い物も貧弱な品揃えの気がする。家の前の外灯は古ぼけた蛍光灯で、悲哀に満ちている。つまり戻る喜びがない。(50代)
- ・帰りたいけど(自宅へ)、隣・近所は誰一人として居ないので、住むとなると色々不安な部分があり、生活していくことが出来るのか心配な面もあります。自宅へ住むようになった時には、各家庭に防災無線を設置して頂きたいです。(70代以上)

#### 【帰還しない】

- ・アンケートで「戻らないと決めている」を選択しましたが、富岡町は私にとって、たったひとつの大事な故郷であると思っています。こちらでの生活もあるため、直接的に復興に関わることは中々難しいのですが、いち早く復興してほしいという気持ちはとても強く持っています。復興の度合い、進み具合等、ずっと気にしているので、今後もこまめに公開・周知していただければと思います。(10~20代)
- ・私の家は津波で半壊し取り壊したためもうありません。帰る場所はないのですが、時々富岡の様子を見に行きたいと思うことがあります。しかし富岡駅がなくなってしまい、気軽に立ち寄れる場所ではなくなりました。震災後に亡くなった祖父のお墓は富岡にあります。お墓参りをするのにもインフラの不便さを痛切に感じます。富岡駅の建設は難しいのでしょうか。故郷に帰りたくても物理的に帰るのが難しい今の状況が変わってくれたらと思います。(30代)
- ・帰って震災前の生活に少しでも戻りたい気持ちはあります。しかしながら年齢もそれなりの年になり、仕事を探すことも難しい。例え帰りたい気持ちはあっても、一人で生活することはできない(病気、怪我等)。子供達は、それぞれ避難した場所で仕事を探し、生活基盤も整えつつあります。自分の我儘で無理に帰ることもできない。(60代)

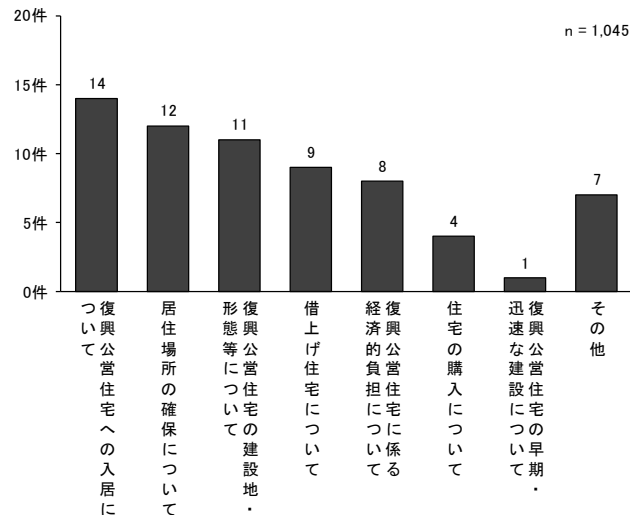


【帰還に関する施策について】

- ついに避難指示が一部解除になり、明るいニュースが増えてきたことはとても嬉しく思うが、避難指示が解かれたからといって、それで全てが解決したという訳ではないので、富岡に戻った人も、戻るか悩んでいる人も、戻らないと決めた人も、皆が引き続きサポートを受けられるシステムづくりが必要不可欠であると思う。震災はまだ終わっていない。(10~20代)
- 避難指示の解除は早くなかったのか。復興とは国、県、町で決めるだけで、住民が望むこととは少し温度差を感じます。復興アピールの催しは大事だと思うが、もっと税金を大事に使って無駄を無くしてもらいたいです。仮設住宅だけの恩恵も、逆に仮設住宅へ入らない人だけ無し等、町民全てが平等であるべきと思います(40代)
- 今年の4月から一部避難指示解除されましたが、他町・村も見ての通り帰還する人が少なく、「町として自立ができるのか」ととても不安を感じる町民が多いのではないかと思います。ある程度の人数が帰還するまでには、相当の期間を要すると思いますので、これから先の(医療費・固定資産税・高速道路等)無料化の継続を、町から国へ引き続き強く要望していただきたいと思います。(60代)

### 3-5-6 避難期間中及び将来の住宅について

＜図表3-5-6 避難期間中及び将来の住宅についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### 〔復興公営住宅への入居について〕

- 県外から福島へ戻る際、仮設住宅や借り上げ住宅には入れてもらえず、戻りたければ自分でアパートを見つけて下さいと言われ、とても落ちこみました！！何の為の仮設住宅なのか？役割を果たしていないと思う！！復興住宅は3度抽選に落ち、4度目でやっと当選し現在があります。(50代)
- 復興住宅の建設も進んではいるが、募集の時期など情報が少なすぎる。私自身「判断がつかない」ことはその中のひとつです。国が先導になって進めているが、目に見えない部分もあり不安である。町に帰りたい気持ちと、大丈夫かなという気持ちと日々交差しているところです。前向きになりたいが、現実無理である。町へ入ると風景が変わり、何とも寂しい気持ちで、本当に将来どうなるの？汚染は大丈夫？放射線は大丈夫？私達は？(60代)
- 富岡町災害公営住宅の入居者を募集していますが、連帯保証人が入居者と同等以上の収入のある方となっているが、富岡町に住民票がある人だけに限定された場合、新戚、兄弟等が少ない人の場合には入居できない人もいます。現在郡山市の災害公営住宅に入居しているが、入居の際の連帯保証人に収入の限定はなかった。(70代以上)

【居住場所の確保について】

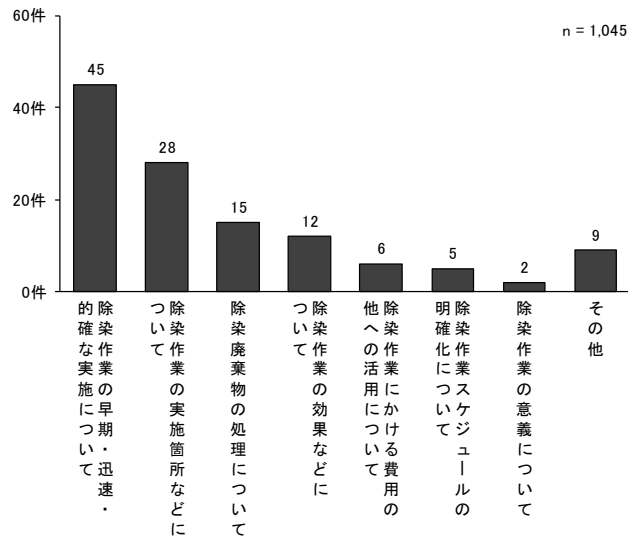
- 現在、子供が郡山市内の高校に通っているため、卒業するまでは（あと2年）今の借り上げ住宅（アパート）で過ごしたい。その後は、いわきに避難している高齢・要介護の祖母・両親の近くに行きたいと考えている。その頃にペット可の公営住宅への入居は出来ないため、住宅の確保が不安（40代）
- 早目に仕事が決まってしまう、家はリフォーム待ちだったため、富岡町役場に町内のアパート等の問い合わせをした所、窓口では“わからない”“こちらではそれは関係ない”等の対応でした。今後、帰ってこられる方が住まいを探す時、これでは帰ってきたくても、住む所がなければ誰も帰ってくる気にはならないと思います。役場の窓口でも、不動産屋さんとの連携をとって、出来るのであれば空き家情報等知る事が出来れば良いなと思っています。（50代）
- 町民に帰還を勧める一方、いわき市に公営住宅が、今建設中です。双葉郡の住民に帰還を勧めるのであれば、双葉郡内に建設してほしいと思います。町内に戻る気持はあっても、先ず住宅の心配からしなくてはならず、アパートに住んで物音をたてずに暮らしていた時期もあり、集合住宅には入る気持にはなれない。又、70歳過ぎた高齢世帯では新築をする意欲もわかず、子供、孫たちを迎えるのは、今現住の所しかないのかなど思ったりしています。「さくらモール」で帰った方の話を聞くと、曲田に住む方は「いい所だよ」と言っていたり、自宅に帰った方は「後悔している」ような話で、まだまだ決められないです。（70代以上）

【復興公営住宅の建設地・形態等について】

- 双葉郡じゃない所に建てている復興住宅は、あまり意味がないと思う。建てるとしても建て過ぎ。他の県で起きている災害を優先するべき。何故なら原発はどうにもならない。無駄な工事、無駄な人件費。それよりアパート等住む所をずっとサポートしてもらった方がいい（家賃等）。（30代）
- 単身でも入居できる、戸建ての公営住宅を建ててほしい。団地のような集合住宅には疲れしました。（50代）
- 2017年8月29日現在で、富岡町に戻った方が約250名位と聞いております。仮設住宅など他町村に作り入住等勧めていますが、それでは富岡町の人が少ないのでは？仮設等も町内に作った方がいいと思います。（60代）

### 3-5-7 除染について

＜図表3-5-7 除染についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### 【除染作業の早期・迅速・的確な実施について】

- ・早く除染を行って、戻れる様にしてほしい、遅くなればなるほど帰る家が朽ちていく。(40代)
- ・更なる放射線量を低減(帰還困難区域の解除を含め)して、孫たちが安心して富岡に遊びに来られる様にしてほしい(今の状況では、富岡に戻っても孫たちが安心して遊びに来られないと思う)。(60代)
- ・帰還困難区域のお墓周りの、草刈り及び除染等徹底して欲しい。先祖供養、お盆・お彼岸の墓参り時に、草が伸び放題、今も放射線及び放射能があり危険だ。(60代)

#### 【除染作業の実施箇所などについて】

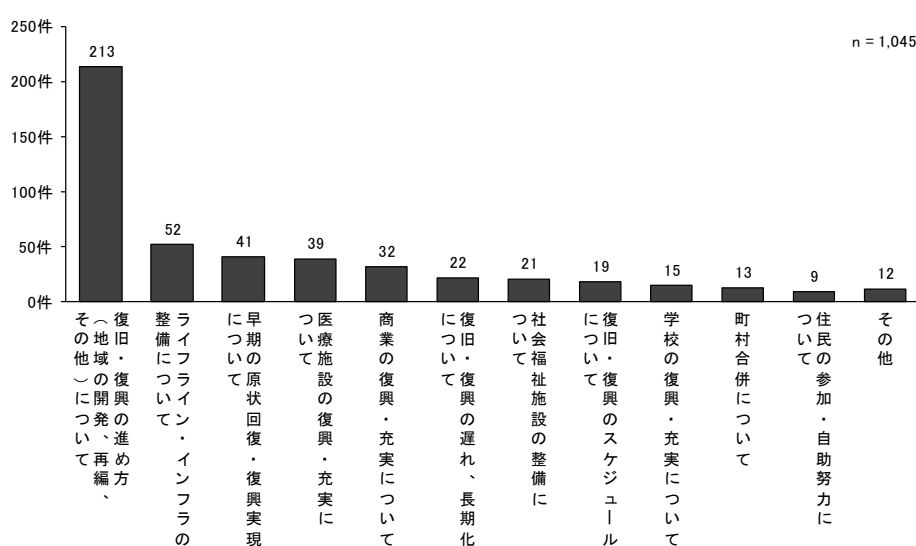
- ・帰還困難区域に隣接している居住制限区域の除染を、もっと線量が下がるまで徹底的にやってほしい。富岡町の空間線量は、隣の楡葉町に比べ高すぎる。(40代)
- ・側溝の清掃。町内のホットスポット除染(再度)。山林の除染30～50mは必要(風で移動)(線量の高い所は表土の撤去)。(50代)
- ・夜の森駅前地区に住んでいました。今回の桜通りから50mの計画除染からほんの数m離れているため、除染されずに放置されました。1mでもこの計画ラインに敷地が含まれていれば除染されるのに、この差は一体何なのでしょう。「ひとり一人に寄り添って復興する」はずではなかったのですか?せめて、行政区ごとの一括除染はできなかったのでしょうか?国の一方的な計画に、町の意見(住民の意向や、気持ち)を反映しようとしないう町の姿勢にはガッカリです。(60代)

#### 【除染廃棄物の処理について】

- ・帰還困難区域を最終処分場とし、国等で不動産(家や土地)を買い取って欲しい。(30代)
- ・この先不安だらけ。大熊や双葉へゴミが全部来る。原発の汚染物もすごいのに、よく考えて下さい。(50代)
- ・復興については、いろいろ困難があると思う。特に20年後県外に最終処分場を持っていくと国会では決議しているが、結局富岡町になると思う。すでに国では土地確保について努力していると、テレビの特番の不動産屋の発言。20年後というと、現在の小・中学生が成人した年代になる。町でもそのことをよく考え、受け入れざるを得ないので、具体的な復興計画、場所、周囲の環境、土地の売却値段等について今、から有識者の智恵を借りて計画をしておくべきだと考える(あくまでも秘密事項として)。(70代以上)

### 3-5-8 復旧・復興について

＜図表3-5-8 復旧・復興についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### 〔復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について〕

- 町の復興と言いながら、色々な施設やお店ができていますが、そこで働いている人達は別の町や市から通って来ているという話を聞きました。役場職員もそうだと聞きました。それが本当であるのであれば、本当の意味での復興ではない気がします。まず、国の人、県の人、町の人（帰還宣言を決めた人達）がその町に生活（住んで）をして、自分達が大丈夫という事を示して欲しいです。町民にだけ帰還宣言をして大丈夫です、戻って下さいと言っても、納得がいかないと思いますし、実際に帰還している人も少ないと思います。あまりにも人の命を簡単に軽く考えているのではないのでしょうか？目に見えない影響の怖さ、恐ろしさをもっと真剣に考えた上での復興を願っています。（10～20代）
- 同じ富岡町なのに、帰れる所と帰れない所があるのが変だと思う。本当に帰還しても良いのだろうか。町は復興すべきと思うが、果たして安全と言えるのか？大熊町がダメで、富岡町は？放射線は？明確になっていない部分もかなりあるのでは！原発作業員としての気持です。生まれ育った町なので生きかえってほしいのだが、そう簡単に復興、復興と言って良いのかわかりません。（50代）
- アンケートで「戻りたいと考えている」と答えたが、自分の年齢を考えた時、夫婦2人での生活に一抹の不安を感じ、未だ迷っています。国は被災地の農地集約を進め、農業の復興再生を進めると言っています。富岡町の一番平担で集約された水田がある高津戸地区には、除染を終えた水田に次々ソーラー発電設備が建設されています。農業再生が町の復興再生には不可欠としていただけに、残念でならない。（70代以上）

#### [ライフライン・インフラの整備について]

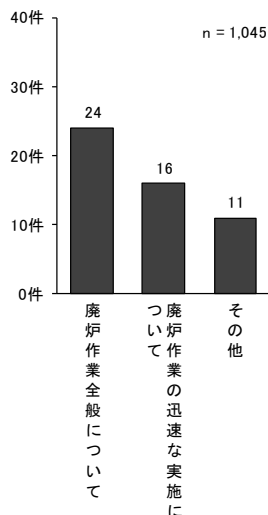
- 将来的に戻りたいと思うが、子どもの教育関係や友だちについて、現状のままで子どもに負担のないようにしたいと思っているため、教育環境が整備されたとしても子ども達が自立するまでは戻らない、戻れないと思っている現状。常に富岡町まで通勤しているが、道路の整備がまだ行き届いていないため、人口の少ない内に整備した方がいいと思います。海側の方はきれいに整備されてきているが、山側の所は応急整備的な部分が多い。さくらモールなどができライフラインの復旧は進んでいると思う。今後は娯楽設備等の設置も期待したい（スポーツ施設、飲み屋街、レンタルショップ、本屋、ゲームセンター等）。（10～20代）
- 生活基盤の整備が整わない現状での避難指示の解除には、納得がいきません。復興を早めようとする志はわかりますが、駅等交通の確保、医療サービスの充実、購買場所の確立など、全て生活に最低限必要な事を整備しなければ、帰還は難しいと思います。（50代）
- 町道の白線引きは順調に進んでいるが、県道は殆んど手つかずである。安全走行のためにも県道の整備をお願いします（白線引き）。防波潮堤の構築で太平洋が身近でなくなり、寂しい。海に出られる方法、ルートを広報紙などで教示願えるとありがたい。（70代以上）

#### [早期の原状回復・復興実現について]

- 乳幼児が安心してお墓参りに行ける環境を整えてほしい。親の育ってきた町や地区を、子供に安心して教えたい。今の状況では全然安心できない。（30代）
- 今回の避難で、一番の被害者は子供達や老人だったと思います。私達は新しい土地で新たな生活をしようと向かう事が出来ましたが、新しい環境になじめずにいる人もたくさんいます。私の祖母、母も慣れない土地環境で生活をして一日でも早く戻りたいと、亡くなった後に見た日記に書かれていました。後ろを見たら前へは進めないが、昔のあの生活がしたいという気持ちを常に持っていた様です。戻って生活をしたという方達の思いを、少しでもかなえてあげたい。そう思っている人がいる限り、帰っても生活が出来るのだという環境整備づくりをお願いします。（60代）
- 本年7月に富岡町に居住して気持ちが落ち着き、従来の生活を少しずつ取り戻すことが出来ています。町の復興は、全町内が復活してのことで少なからず思っておりますが、町内（避難指示解除区域）での虫くいの状況を見ると、まだまだかなとも感じております。今後帰還困難区域の拠点整備を打出している町の考えを聞く時に、住宅密集地を先行している様で、小良ヶ浜、深谷、新夜ノ森地区を併せて同時進行で進めなければ、本当の復興とは言えないように思います。居住制限区域に居住している私は、富岡町の復旧が他町村より環境が恵まれているのは、3行政区民等の深い理解と協力があることであり、あの地区のフレコンバックを片づけ、除染して、帰還困難区域の解除が必要であり、本来の姿であると思います。深谷地区及び新夜ノ森の本格除染が進められることが、町民の帰町の目安にもなると考えます。町内一円が早期に解除される事を願う一町民です。よろしく検討をお願いします。（70代以上）

### 3-5-9 原発の安全性について

＜図表3-5-9 原発の安全性についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### [廃炉作業全般について]

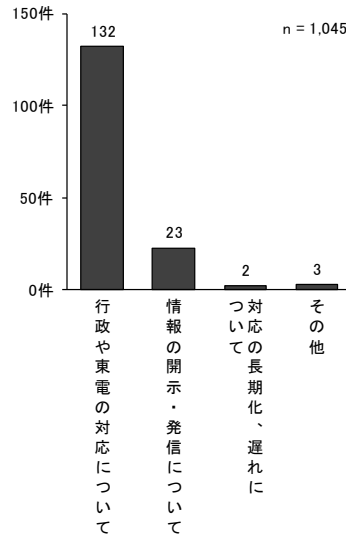
- 第1原発の1号機から6号機までのウランの取り出し。それが全て終わってから町の復興の出発点だと私は考えております。長い時間をかけて新しい町づくりを考えた方が良いと思います。(60代)
- 東電第2原発の再開はどうか、この確定も知り得たいものです。廃炉なら帰還も考えられますが、再開なら戻らない方向に個人的には考えております。(70代以上)
- 廃炉まで40年以上と言われる中、今後何かあったらどうすべきか、どう命を守るのか町は真剣に考え、東電とも本気になって考えてほしい。(70代以上)

#### [廃炉作業の迅速な実施について]

- 原発が現地に存在するかぎり、放射線の影響が大なり小なりあると思います。廃炉が完了し、完全に100%安全性が確保されなければ、戻るといふ思いはありません。原発が存在し安全性が確保されないまま戻っても、不安な毎日を過ごしても復興には至らないと思います。現在国へ貸している土地についても(仮置場になっている)、将来は売却したいと考えています。早々に廃炉作業を行う事が必要と思います。(50代)
- 第2原発の早急な廃炉と、その実施。これが決定し進めば、さらに帰る人が増えると思う。(60代)
- 第2原発は責任をもって国が廃炉する様、東電に働きかけてほしい。今のところ、町も県も廃炉を望んでいるが、今後町の財源難等で再び再稼働などということがない様に、早いうちに廃炉にすべき。(60代)

### 3-5-10 原発事故に対する対応について

＜図表3-5-10 原発事故に対する対応についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

#### 【行政や東電の対応について】

- 現在仮設住宅に住んでいるが、これからどうして良いか不安。富岡町の自宅の少し行った所は1シーベルト以上あるのに、解除だから帰って大丈夫ですと言われても不安。帰還困難区域の人たちと対応が違い、国、県、町の人々はマニュアル通りにしか動けないのですか！（10～20代）
- 二層化が進んでいる。「戻った人（戻る人）」と「戻らない人」である。「戻る方」は、インフラ、ハコモノ等行政が突っ走っている。「戻らない方」は悩んでいる。選択肢はあるのか？とり残され感は大くなる一方である。決断を迫るのであれば、選択肢を明示すべきである。（50代）
- 町としての復興は可能なのでしょうか。地域、家庭、家族が崩壊して、それが元に戻るとはとても思えない。自家業の方はほとんどが町外に居宅を構え、移住を選択している現実、老舗名店の廃業、他所での開業開店、それで復興はありえるのか？元サラリーマンには何の恩恵もない補償制度。貧富の差がますます拡大、格差社会が如実に表われています。町内は原発作業員等で賑わっている様ですが、住民票の無い方々がほとんどではないでしょうか。今後それらの作業が縮小され、終了した時に町はどうなる。様々な情報を的確に公開、報道して頂きたいです。（70代以上）

#### 【情報の開示・発信について】

- 甲状腺がんが多発していますが、有識者の方たちは原発事故との因果関係はないと言いますが、有無のしきい値はどこにあるのでしょうか？公表して下さい。（40代）
- アンケートでも放射線量のことが多く質問されておりますが、線量は帰還困難区域でも何ら問題ない線量です。反原発者やマスコミの主張に惑わされる事なく、安全性をもっとアピールすべき。そうでないと富岡に戻る人は増えませんよ。（70代以上）
- 安定した生活が出来るまでには10年以上かかる状況ではないか。放射線は除染時0.8であったが、現在は建物の周りを歩いただけで2.0の線量の高い数字が。1日おきに自宅へ帰って線量計で測って、ほとんど変わらない状況である。国、県は正確な数字を住民に知らせるべきである。（70代以上）

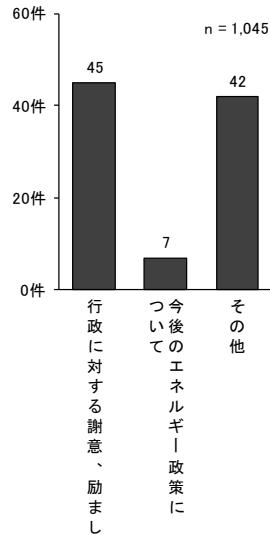


[対応の長期化、遅れについて]

- 福島第二原発の今後の方針について、東電が未だに公表していない。帰還したい住民の足かせになっているのがわからないのではないか。東電が住民に寄りそうと言っているなら、一日も早く第二原発の廃炉を発表すべきである。戻る住民が少ないことを理由に、東電は原発の再稼働をうかがっているのではないのか…。ダムや農業用のため池など除染を実施していない。飲み水は安全だからと国や環境省は言っていますが、現在の異常気象が発生している中で、豪雨、大地震等でダムやため池が決壊して汚泥の流出が起こることに不安がある。万が一、ダムやため池が決壊した時、国や環境庁は「想定外であった」と言わないで下さい。想定されることは、作業（除染）を実施すべきである。除染後、線量が下がったから「安全だよ、健康に問題もない」と言われても、国・東電は周囲の山林など除染はしていない。かつての東電の原発の安全神話と同じではないのか。復興とは元の姿に戻すことが目標と思いますが、残念ながら原発事故による復興は、他の災害事故に比べて長い歳月を要する。避難指示解除は余りにも早いと感じました。町には残念ながら戻りたくても戻れません。（60代）
- 東電には厳しく臨んで欲しい。なぜ、我々が路頭に迷っているのか？路頭生活を約7年続けている理由は何故？（70代以上）

3-5-11 その他

<図表3-5-11 その他についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

**【行政に対する謝意、励まし】**

- いつもフェイスブックで富岡町の情報をチェックしています。行事やイベント等の楽しそうなレポートや、懐かしい町の風景の写真を見たり、とても楽しいうれしい気持ちになります。また、とみっぴーが凄くかわいく大好きになりました。とみっぴーに会ってみたいが、なかなか福島に帰ることができず、会えないのがとても残念です。とみっぴーに会える機会が増えたらうれしいです。これからもレポートや写真楽しみにしています。(10~20代)
- 日頃は町の為、町民の為にお仕事お疲れ様でございます。今年の夏、久々に先祖の墓参りに富岡町に入りました。家は壊してしまいましたので、土地だけを見に行ったり、町中を車で見て回りました。かなり変わってしまった所もありましたが、商業施設が再開し、人々が生活している様子や駅前開拓の現状を見て、本当に町が動き始めているのだと実感しました。(他人事のように、すみません)。県外にいるため縁遠くなってしまい、又子供達のこちらでの就職や生活が基盤になってしまい、今後はこちらに移住する事に決心しましたが、富岡町に戻ってみると、懐かしさと寂しさが胸がいっぱいになりました。自分が一番落ち着く場所、ふる里はやっぱり富岡町だなと実感します。戻って暮らす事は出来ないかもしれませんが、富岡町が(ふる里)があるというのは、本当にありがたい事です。何もお手伝い出来ず申し訳ない気持ちと、町職員の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。今は、いずれ住民票を移さなくてはならないという、富岡町民でなくなってしまう虚しさがこみあげます。皆様どうぞお身体に気をつけてお過ごし下さい。ありがとうございました。(50代)
- 町長をはじめ町職員の方々には、町の復旧、復興の為、日夜奮闘しておられる事に対し、深く敬意と感謝を申し上げます。私はそんなに高望みはしておりません。ただ、震災前の富岡町の姿に戻してもらいたいのみです。国、県の方々にも我が富岡町の事についてよろしく願い申し上げます。(70代以上)

[今後のエネルギー政策について]

- いつまでも町民の帰還にこだわるより、新しい富岡町の創成に踏み切るべきと思う。自然エネルギー等、新エネルギーに関わる企業や研究機関を誘地して、新エネルギー開発拠点の町となる。福島第一及び第二に限らず、将来日本の原子炉はいずれ廃炉を迎える。それに備えて、廃炉に関する企業・研究機関を誘地し、廃炉拠点の町となる。町内の至る所に太陽光パネルを設置して、町全体がメガソーラー発電所として機能していく。いずれにしろ、人の住む町としてではなく、企業の町（例えば日立市のような）として再生していくべきではないか。（40代）
- エネルギー基本計画で原発を可能な限り少なくとしているのに、再稼動、増設をしないと達成出来ない割合（20～22%）としているのは矛盾であり、国民、県民を馬鹿にしている。この様な破廉恥なことをするようでは、国は原子力政策に信頼を得ることが出来ない。核のゴミの処理場所が決まるまでは増設すべきではなく、再稼動もすべきではない。日本学術会議が言うように、総量規制すべき。エネルギー安全保障のためなら、動かさずにスタンバイさせておけばよい。（70代以上）
- 原発事故は際限のない被害をもたらしている。「再発がない」とは誰も保証できない。原発をやめ、自然エネルギー化すべきだ。（70代以上）



## **IV 參考資料**



## 4-1 使用調査票

## 富岡町 住民意向調査

※主に、住環境や雇用状況についておうかがいします。

## 記入上の注意

## ● 調査をお願いする方

- 震災発生時、富岡町に住民登録をしていた世帯（避難後の転出者を含む）が対象です。
- ご回答は、**世帯の代表者の方**をお願いいたします。
- 現在、世帯が何か所かに分かれて避難されている場合には、それぞれの場所に調査票を送付しておりますので、本調査票の送付されたお住まいの代表者の方に、ご回答をお願いいたします。

## ● ご回答方法

- ご回答は、あてはまる番号を選び、その番号に○をつけてください。
- 「その他」に○をされた場合は、（ ）内に具体的な内容もご記入ください。
- の中に記入をお願いしている質問には、具体的な地名や数値などをご記入ください。  
※調査票は無記名でお願いしております。

## ● 情報の取り扱いについて

- 回答はすべて統計的な処理を行い、個人の特定につながるような内容が公表されることはありません。

## ● ご提出方法

- ご記入済みの調査票は、9月11日（月）までに、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストにご投函ください（切手は不要です）。

【お問い合わせ先】 ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

復興庁  
「住民意向調査」  
問い合わせセンター

調査の趣旨、記入方法について

フリーダイヤル 0120-901-840

[設置期間：8月29日（火）～9月11日（月） 平日10時～17時]

福島県

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号  
避難地域復興局 生活拠点課  
Tel 024-521-8617

富岡町

〒979-1192 福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚622番地の1  
富岡町役場 企画課  
Tel 0240-22-2111







【すべての方にかがいます。】

**問5** 震災発生当時にお住まいだった住宅の形態を教えてください。(○は1つ)

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 1. 持ち家(一戸建)         | 7. 家族のどなたかのお住まい・実家 |
| 2. 持ち家(集合住宅)        | 8. 親戚・知人宅          |
| 3. 民間賃貸住宅(一戸建)      | 9. その他 { 具体的に      |
| 4. 民間賃貸住宅(集合住宅)     | }                  |
| 5. 公営住宅             |                    |
| 6. 給与住宅(社宅、公務員宿舎など) |                    |

【すべての方にかがいます。】

**問6** 震災発生当時のあなたの職業と業種を教えてください。なお、2つ以上の職業を持っていた場合には、主な収入源になっていた職業を選択してください。

(1) 震災発生当時のあなたの職業(就業形態)(○は1つ)

- |                           |                 |                |
|---------------------------|-----------------|----------------|
| 1. 自営業・会社経営者              | 7. 学生           | } ⇒ <u>問7へ</u> |
| 2. 会社員(勤め人)(事務や内勤を主とする業務) | 8. 無職(職を探していない) |                |
| 3. 会社員(勤め人)(労務や外勤を主とする業務) | 9. 無職(職を探している)  |                |
| 4. 団体職員                   | 10. その他 { 具体的に  | }              |
| 5. 公務員                    |                 |                |
| 6. パート・アルバイト              |                 |                |

【就業していた方(問6(1)で「1」から「6」、「10」と回答した方)にかがいます。】

(2) 震災発生当時のあなたの業種(○は1つ)

- |               |                   |
|---------------|-------------------|
| 1. 農業(畜産業を含む) | 8. 卸・小売り・飲食、サービス業 |
| 2. 林業         | 9. 金融・保険業         |
| 3. 漁業         | 10. 医療・福祉         |
| 4. 建設業        | 11. 教育            |
| 5. 製造業        | 12. 公務            |
| 6. 電気・ガス・水道業  | 13. その他 { 具体的に    |
| 7. 運輸業        | }                 |

【就業していた方(問6(1)で「1」から「6」、「10」と回答した方)にかがいます。】

(3) 震災発生当時の勤務先の場所(○は1つ)

- |           |         |         |          |
|-----------|---------|---------|----------|
| 1. 杉内     | 8. 新町   | 15. 上郡  | 22. 中央   |
| 2. 仲町     | 9. 赤木   | 16. 太田  | 23. 小浜   |
| 3. 高津戸    | 10. 上本町 | 17. 下郡山 | 24. 深谷   |
| 4. 下千里    | 11. 王塚  | 18. 毛萱  | 25. 小良ヶ浜 |
| 5. 大菅     | 12. 本町  | 19. 仏浜  | 26. 栄町   |
| 6. 夜の森駅前北 | 13. 岩井戸 | 20. 駅前  | 27. 新夜ノ森 |
| 7. 夜の森駅前南 | 14. 清水  | 21. 西原  | 28. 富岡町外 |

## 現在のあなたの状況について教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

**問7** あなたが現在お住まいの地域を教えてください。(○は1つ)

1. 富岡町                      2. 浜通り                      3. 中通り                      4. 会津
5. 福島県外 → 具体的にご記入ください。
- (都・道・府・県)                       (市・町・村)

【すべての方にうかがいます。】

**問8** 現在、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア) 未就学児(小学校入学前)	人	エ) 高校生	人
イ) 小学生	人	オ) 15歳以上65歳未満 (中学生・高校生を除く)	人
ウ) 中学生	人	カ) 65歳以上の方	人

【すべての方にうかがいます。】

**問9** 現在お住まいになっている住宅の形態を教えてください。(○は1つ)

1. 応急仮設住宅(プレハブ型。無償)
2. 応急仮設住宅(民間住宅・公営住宅などの借り上げ型。無償)
3. 公営住宅(2.は除く。有償)
4. 民間賃貸住宅(有償)
5. 給与住宅(社宅など)
6. 家族のどなたかのお住まい・実家
7. 親戚・知人宅
8. 持ち家(ご本人またはご家族所有)
9. その他(具体的に)

【すべての方にうかがいます。】

**問10** 震災発生当時一緒にお住まいだったご家族は、現在、何か所に分散してお住まいですか。(○は1つ)

1. 世帯でまとまって居住(一人暮らし含む)
2. 合計2か所に分散
3. 合計3か所に分散
4. 合計4か所以上に分散

#### IV 参考資料

【すべての方にうかがいます。】

**問 11** 現在のあなたの職業と業種を教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合には、主な収入源になっている職業を選択してください。

(1) 現在のあなたの職業(就業形態)(○は1つ)

- |                           |                 |                   |
|---------------------------|-----------------|-------------------|
| 1. 自営業・会社経営者              | 7. パート・アルバイト    | } ⇒ <u>問 12 へ</u> |
| 2. 自営業・会社経営者(休業中)         | 8. 学生           |                   |
| 3. 会社員(勤め人)(事務や内勤を主とする業務) | 9. 無職(職を探していない) |                   |
| 4. 会社員(勤め人)(労務や外勤を主とする業務) | 10. 無職(職を探している) |                   |
| 5. 団体職員                   | 11. その他〔具体的に    |                   |
| 6. 公務員                    |                 | 〕                 |

【就業していた方(問11(1)で「1」から「7」、「11」と回答した方)にうかがいます。】

(2) 現在のあなたの業種(○は1つ)

- |               |                   |
|---------------|-------------------|
| 1. 農業(畜産業を含む) | 8. 卸・小売り・飲食、サービス業 |
| 2. 林業         | 9. 金融・保険業         |
| 3. 漁業         | 10. 医療・福祉         |
| 4. 建設業        | 11. 教育            |
| 5. 製造業        | 12. 公務            |
| 6. 電気・ガス・水道業  | 13. その他〔具体的に      |
| 7. 運輸業        | 〕                 |

**将来に関するご意向についてお聞かせください。**

【すべての方にうかがいます。】

**問 12** 富岡町への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。「1」から「5」の中から1つ選び、それぞれの質問にお答えください。(○は1つ)

- |                          |                           |
|--------------------------|---------------------------|
| 1. 既に富岡町で生活している          | ⇒ <u>問 13 へ</u>           |
| 2. 戻りたいと考えている(将来的な希望も含む) | ⇒ <u>問 15(6 ページ) へ</u>    |
| 3. まだ判断がつかない             | ⇒ <u>問 21(8 ページ) へ</u>    |
| 4. 戻りたいが、戻ることができない       | } ⇒ <u>問 24(10 ページ) へ</u> |
| 5. 戻らないと決めている            |                           |

**問 13～問 14 (5 ページ) は、問 12 の富岡町への帰還について、「1. 既に富岡町で生活している」と回答した方がお答えください。**

【問 12 で「1. 既に富岡町で生活している」と回答した方にうかがいます。】

**問 13** 町内での生活を決めた判断材料は、どのようなことですか。(○はいくつでも)

- |                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| 1. 放射線量が低減されたこと        | 8. 双葉警察署及び富岡消防署が再開したこと |
| 2. 水道水等、生活用水の安全性があること  | 9. 近くに勤務先があること         |
| 3. 商業施設が再開したこと         | 10. 働く場があること           |
| 4. 自宅や災害公営住宅が整備されたこと   | 11. 気持ちが安らぐこと          |
| 5. 路線バス等の公共交通機関が再開したこと | 12. 友人・知人等が戻ったこと       |
| 6. 医療施設が開院したこと         | 13. その他 { 具体的に         |
| 7. 役場機能が再開したこと         | }                      |

【問 12 で「1. 既に富岡町で生活している」と回答した方にうかがいます。】

**問 14** 町内での今後の生活において、必要だと感じていることについて教えてください。(○はいくつでも)

- |                              |  |
|------------------------------|--|
| 1. 防犯体制の強化                   | 9. 保育・教育環境の充実                            |
| 2. 雇用確保の支援                   | 10. 趣味等を学ぶ環境の充実                          |
| 3. 商業施設の再開・充実                | 11. 継続的な健康管理等、放射線に対する不安解消への取り組み、放射線量低減対策 |
| 4. 鉄道などの公共交通機関の再開・充実         | 12. 町内でのイベント                             |
| 5. 医療機関の拡充                   | 13. 見守り活動の継続 ⇒ <u>問 14-1 へ</u>           |
| 6. 介護・福祉施設の充実                | 14. その他 { 具体的に                           |
| 7. 町内コミュニティ活動(行政区等の活動も含む)の機会 | }  |
| 8. 公営住宅の整備                   |  |

⇨ 問 14 で「1」から「12」、「14」を選んだ方は問 29(12 ページ) へ

【問 14 で「13. 見守り活動の継続」と回答した方にうかがいます。】

**問 14-1** 見守り活動の一環として、町職員等による定期的な家庭訪問を希望されますか。(○は1つ)

- |                    |               |
|--------------------|---------------|
| 1. 週 1 回程度の訪問を希望する | 3. その他(具体的に ) |
| 2. 月 1 回程度の訪問を希望する | 4. 希望しない      |

⇨ 問 29(12 ページ) へ

#### IV 参考資料

問 15～問 23 (6～7 ページ) は、問 12 の富岡町への帰還について、  
「2. 戻りたいと考えている (将来的な希望も含む)」と回答した方がお答えください。

【問 12 で「2. 戻りたいと考えている (将来的な希望も含む)」と回答した方にうかがいます。】

**問 15** 戻る場合に家族の全員か一部かについて教えてください。(○は1つ)

- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| 1. 家族全員での帰還を考えている | 3. 現在検討しているところ |
| 2. 家族一部での帰還を考えている | 4. 検討をしていない    |

【問 12 で「2. 戻りたいと考えている (将来的な希望も含む)」と回答した方にうかがいます。】

**問 16** 帰還した場合の仕事の見通しはありますか。(○は1つ)

- |                      |                        |
|----------------------|------------------------|
| 1. 仕事の見通しがある         | ⇒ <u>問 16-1 へ</u>      |
| 2. 仕事の見通しはないが仕事に就きたい | ⇒ <u>問 17 へ</u>        |
| 3. 仕事はしない            | ⇒ <u>問 18(7 ページ) へ</u> |

【問 16 で「1. 仕事の見通しがある」と回答した方にうかがいます。】

**問 16-1** 見通しがたっている仕事の場所(勤務先)はどこですか。(○は1つ)

- |        |                   |   |
|--------|-------------------|---|
| 1. 富岡町 | 2. 富岡町外(具体的な市町村名) | ) |
|--------|-------------------|---|

【問 16 で「1. 仕事の見通しがある」と回答した方にうかがいます。】

**問 16-2** 見通しがたっている仕事の業種を教えてください。(○は1つ)

- |               |                   |
|---------------|-------------------|
| 1. 農業(畜産業を含む) | 8. 卸・小売り・飲食、サービス業 |
| 2. 林業         | 9. 金融・保険業         |
| 3. 漁業         | 10. 医療・福祉         |
| 4. 建設業        | 11. 教育            |
| 5. 製造業        | 12. 公務            |
| 6. 電気・ガス・水道業  | 13. その他 (具体的に)    |
| 7. 運輸業        | )                 |

→ 問 18(7 ページ) へ

【問 16 で「2. 仕事の見通しはないが仕事に就きたい」と回答した方にうかがいます。】

**問 17** 仕事に就く場合、どのような業種を希望しますか。(○はいくつでも)

- |               |                   |
|---------------|-------------------|
| 1. 農業(畜産業を含む) | 8. 卸・小売り・飲食、サービス業 |
| 2. 林業         | 9. 金融・保険業         |
| 3. 漁業         | 10. 医療・福祉         |
| 4. 建設業        | 11. 教育            |
| 5. 製造業        | 12. 公務            |
| 6. 電気・ガス・水道業  | 13. その他 (具体的に)    |
| 7. 運輸業        | )                 |

【問 12 で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。】

**問 18** 帰還した場合のお住まいは、どのような形態を希望しますか。（○は1つ）

- |                             |              |  |
|-----------------------------|--------------|--|
| 1. 自宅に住みたい(建て替える場合を含む)      | ⇒ 問 19 へ     |  |
| 2. 自宅とは別の場所に新たに一戸建の持ち家を建てたい | } ⇒ 問 18-1 へ |  |
| 3. 自宅とは別の場所に分譲集合住宅を購入したい    |              |  |
| 4. 災害公営住宅(町が町内に整備する住宅)      | ⇒ 問 18-2 へ   |  |
| 5. 民間賃貸住宅(一戸建)              | } ⇒ 問 19 へ   |  |
| 6. 民間賃貸住宅(集合住宅)             |              |  |
| 7. 給与住宅(社宅など)               |              |  |
| 8. 家族のどなたかのお住まい・実家          |              |  |
| 9. 親戚・知人宅                   |              |  |
| 10. その他 { 具体的に              |              |  |
| 11. 現時点では判断できない             |              |  |

【問 18 で「2」「3」と回答した方にうかがいます。】

**問 18-1** 元の持ち家以外を希望される理由は何ですか。（○はいくつでも）

- |                          |                |
|--------------------------|----------------|
| 1. 自宅周辺の放射線量の高さが心配だから    | 5. 自宅が荒廃しているから |
| 2. 自宅周辺に住む人が少ないと思うから     | 6. 自宅を解体したから   |
| 3. 富岡町内の新たな場所で生活を開始したいから | 7. その他 { 具体的に  |
| 4. 今後、津波の被害を受けることが心配だから  |                |

↳ 問 19 へ

【問 18 で「4」と回答した方にうかがいます。】

**問 18-2** 居住地域の希望はありますか。（○は1つ）

- |                  |       |
|------------------|-------|
| 1. ある(具体的な行政区名 ) | 2. ない |
|------------------|-------|

【問 12 で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。】

**問 19** 富岡町に戻る場合に、どのような施策が必要と考えますか。（○はいくつでも）

- |                    |                       |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 更なる放射線量の低減      | 7. 更なる防犯・防火対策の強化      |
| 2. 商業施設の再開、充実      | 8. 放射線リスクコミュニケーションの充実 |
| 3. 医療、介護福祉施設の再開や新設 | 9. 帰還困難区域の早期復興        |
| 4. 教育、保育環境の整備      | 10. その他 { 具体的に        |
| 5. 公共交通機関の充実       |                       |
| 6. 雇用確保・就業サポート     |                       |

【問 12 で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。】

**問 20** 富岡町に戻るまで(避難生活を継続している期間)に、どのような施策が必要と考えますか。（○はいくつでも）

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1. 町外での行政サービスの継続                   |
| 2. 町外コミュニティの運営サポート                 |
| 3. 放射線管理の徹底(内部被ばく検査、健康手帳、線量計配布等)   |
| 4. 放射線に関する学習会や相談会の開催               |
| 5. 町内不動産の維持管理(見守りや草刈り等)に関するサポート    |
| 6. 町内不動産の有効利用(空き家・空き地バンク等)に関するサポート |
| 7. その他 ( )                         |

↳ 問 29(12 ページ)へ

問 21～問 23 (8～9 ページ) は、  
問 12 の富岡町への帰還について「3. まだ判断がつかない」と回答した方がお答えください。

【問 12 で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

**問 21** 富岡町への帰還について、「まだ判断がつかない」理由を教えてください。(○はいくつでも)

【健康に関わるもの】

1. 放射線量が低下せず不安だから
2. 原子力発電所の安全性に不安があるから
3. 水道水などの生活用水の安全性に不安があるから

【町内の復旧状況に関わるもの】

4. 帰還困難区域内だから
5. 富岡町に戻っても仕事がなさそうだから
6. 富岡町での事業の再開が難しいから
7. 営農などができそうにないから
8. 家が汚損・劣化し、住める状況ではないから
9. 富岡町外への移動交通が不便だから
10. 道路、鉄道等の交通インフラに不安があるから
11. 医療環境に不安があるから
12. 介護・福祉サービスに不安があるから
13. 教育環境に不安があるから
14. 生活に必要な商業施設などが元に戻りそうにないから

【今後の生活に関わるもの】

15. 高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから
16. 他の住民も戻りそうにないから
17. 今後の津波被害を受ける可能性があるから
18. 帰還までに時間がかかるから
19. 避難先で仕事を見つけているから
20. 今の環境で子どもの教育を継続させたいから
21. 避難先の方が、生活利便性が高いから
22. すでに生活基盤ができているから
23. その他 ( 具体的に )

【問 12 で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

**問 22** 富岡町へ戻ることを判断するために必要なことを教えてください。(○はいくつでも)

1. 道路、鉄道、学校、病院などの社会基盤(インフラ)の復旧時期の見通し
2. 放射線量の低下の見通し、除染成果の状況
3. どの程度の住民が戻るかの状況
4. 中間貯蔵施設の情報
5. 原子力発電所の安全性に関する情報(事故収束や廃炉の状況)
6. 放射線の人体への影響に関する情報
7. 働く場の確保の見通し ⇒ 問 22-1(9 ページ)へ
8. 賠償額の確定
9. 住宅確保への支援に関する情報
10. 帰還困難区域内の復旧・復興計画
11. その他(具体的に )
12. 現時点で家族間の意見が分かれており、帰還意向について回答できない
13. 現時点ではどのような情報があれば判断できるかわからない



問 22 で「7」に○をつけなかった方は問 23(9 ページ)へ



【問 22 で「7. 働く場の確保の見通し」と回答した方にうかがいます】

**問 22-1** どのような業種の仕事を希望しますか。(○は1つ)

- |               |                   |
|---------------|-------------------|
| 1. 農業(畜産業を含む) | 8. 卸・小売り・飲食、サービス業 |
| 2. 林業         | 9. 金融・保険業         |
| 3. 漁業         | 10. 医療・福祉         |
| 4. 建設業        | 11. 教育            |
| 5. 製造業        | 12. 公務            |
| 6. 電気・ガス・水道業  | 13. その他〔具体的に      |
| 7. 運輸業        | 〕                 |

【問 22 で「7. 働く場の確保の見通し」と回答した方にうかがいます】

**問 22-2** 仕事の場所(勤務先)はどこを希望しますか。(○は1つ)

- |        |                   |   |
|--------|-------------------|---|
| 1. 富岡町 | 2. 富岡町外(具体的な市町村名) | ) |
|--------|-------------------|---|

【問 12 で「3. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

**問 23** 富岡町との“つながり”を保ちたいと思いますか。(○は1つ)

- |                           |
|---------------------------|
| 1. そう思う ⇒ <u>問 23-1</u> へ |
| 2. わからない                  |
| 3. そう思わない                 |

↳ 問 23 で「2」「3」を選んだ方は問 29(12 ページ)へ

【問 23 で「1. そう思う」と回答した方にうかがいます。】

**問 23-1** 町との“つながり”を保つためにどのような施策が必要と考えますか。(○はいくつでも)

- |                     |             |
|---------------------|-------------|
| 1. まちづくりへの参加機会の創出   | 5. 情報発信の充実  |
| 2. 住民参加行事の充実        | 6. その他〔具体的に |
| 3. 町内で働く場の整備        | 〕           |
| 4. 町内での宿泊施設・交流施設の整備 |             |

↳ 問 29(12 ページ)へ

問 24～問 28 (10～11 ページ) は、  
問 12 の富岡町への帰還について「4. 戻りたいが、戻ることができない」、  
「5. 戻らないと決めている」と回答した方がお答えください。

【問 12 で「4. 戻りたいが、戻ることができない」、 「5. 戻らないと決めている」と回答した方  
うかがいます。】

**問 24** 富岡町への帰還について、「戻ることができない」、または、「戻らない」理由を教えてください。  
(○はいくつでも)

【健康に関わるもの】

1. 放射線量が低下せず不安だから
2. 原子力発電所の安全性に不安があるから
3. 水道水などの生活用水の安全性に不安があるから

【町内の復旧状況に関わるもの】

4. 帰還困難区域内だから
5. 富岡町に戻っても仕事がなさそうだから
6. 富岡町での事業の再開が難しいから
7. 営農などができそうにないから
8. 家が汚損・劣化し、住める状況ではないから
9. 富岡町外への移動交通が不便だから
10. 道路、鉄道等の交通インフラに不安があるから
11. 医療環境に不安があるから
12. 介護・福祉サービスに不安があるから
13. 教育環境に不安があるから
14. 生活に必要な商業施設などが元に戻りそうにないから

【今後の生活に関わるもの】

15. 高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから
16. 他の住民も戻りそうにないから
17. 今後の津波被害を受ける可能性があるから
18. 帰還までに時間がかかるから
19. 避難先で仕事を見つけているから
20. 今の環境で子どもの教育を継続させたいから
21. 避難先の方が、生活利便性が高いから
22. すでに生活基盤ができているから
23. その他

（具体的に）

【問 12 で「4. 戻りたいが、戻ることができない」、 「5. 戻らないと決めている」と回答した方  
うかがいます。】

**問 25** 富岡町との“つながり”を保ちたいと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う ⇒ 問 25-1 へ
2. わからない
3. そう思わない

↳ 問 25 で「2」「3」を選んだ方は問 26 へ(11 ページ)へ

【問 25 で「1. そう思う」と回答した方にうかがいます。】

**問 25-1** 町との“つながり”を保つためにどのような施策が必要と考えますか。(○はいくつでも)

- |  |  |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. まちづくりへの参加機会の創出</li> <li>2. 住民参加行事の充実</li> <li>3. 町内で働く場の整備</li> <li>4. 町内での宿泊施設・交流施設の整備</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>5. 情報発信の充実</li> <li>6. その他</li> </ol> |
|--|--|
- （具体的に）

【問 12 で「4. 戻りたいが、戻ることができない」、「5. 戻らないと決めている」と回答した方に  
うかがいます。】

**問 26** 帰還しない場合に、今後、居住を希望する(既に居住している場合を含む)地域はどちらですか。  
(○は1つ)

1. 浜通り	2. 中通り	3. 会津
4. 福島県外 →具体的にご記入ください。		
<input style="width: 100px; height: 20px;" type="text"/>	(都・道・府・県)	<input style="width: 100px; height: 20px;" type="text"/>
		(市・町・村)

【問 12 で「4. 戻りたいが、戻ることができない」、「5. 戻らないと決めている」と回答した方に  
うかがいます。】

**問 27** 今後のお住まいとして、希望する(既に居住している場合を含む)住宅はどのような  
形態ですか。(○は1つ)

1. 持ち家(一戸建)	7. 家族のどなたかのお住まい・実家
2. 持ち家(集合住宅)	8. 親戚・知人宅
3. 民間賃貸住宅(一戸建)	9. その他 [ 具体的に
4. 民間賃貸住宅(集合住宅)	
5. 公営住宅	
6. 給与住宅(社宅、公務員宿舎など)	10. 現時点では判断できない

【問 12 で「4. 戻りたいが、戻ることができない」、「5. 戻らないと決めている」と回答した方に  
うかがいます。】

**問 28** 町外で生活されている方に対するサポートとして、どのような施策が必要と考えますか。  
(○はいくつでも)

1. 町外での行政サービスの継続	)
2. 町外での事業再開へのサポート	
3. 町外コミュニティの運営サポート	
4. 放射線管理の徹底(内部被ばく検査、健康手帳、線量計配布等)	
5. 放射線に関する学習会や相談会の開催	
6. 町内不動産の維持管理(見守りや草刈り等)に関するサポート	
7. 町内不動産の有効利用(空き家・空き地バンク等)に関するサポート	
8. その他(具体的に	

#### IV 参考資料

【すべての方にうかがいます。】

**問 29** 町の復興に対して、日頃お感じになっているお気持ちや、今後のあなたの展望、国、県、町への要望などをご自由にお書きください。

以上でご回答いただく内容は終わりです。  
ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

同封の返信用封筒にご記入済み調査票を入れて、  
9月11日(月)までに郵便ポストに投函してください(切手は不要です)。

**富岡町 住民意向調査  
報告書**

平成 30 年3月

復興庁 福島県 富岡町

調査機関:株式会社サーベイリサーチセンター

